いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」
に基づく統計量推計結果
（平成２４年７月～９月）

岩手県ＰＲキャラクター「わんこきょうだい」

平成２５年２月

岩手県 商工労働観光部 観光課

目　次

第１部:「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

１．調査概要 1
　（１）調査対象期間 1
　（２）共通基準について 1
　（３）調査方法 1
　（４）調査体系 2
　（５）集計対象（範囲） 2
　（６）用語の定義 3
　（７）その他 4
２．調査結果 5
　（１）調査対象地点数 5
　（２）観光地点等入込客数（延べ人数） 5
　（３）観光入込客数（実人数） 11
　（４）観光消費額 14

第２部:観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

１．調査概要 18
２．観光客の動向分析 19
（１）問１　住まいの地域 19
（２）問２　性別・年代 20
（３）問３　宿泊形態および宿泊数 21
（４）問４　訪問の目的 23
（５）問５　旅行人数、同行者のタイプ 23
（６）問６　観光地訪問の認知、回数 24
（７）問７　岩手県訪問の認知、回数（岩手県外の方のみ対象の設問） 24
（８）問８　観光地への交通機関 25
（９）問９　今回の旅行費用について 26

第１部　「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

１．調査概要

（１）調査対象期間

平成２４年7月１日～平成２４年9月３0日（第二四半期）

（２）共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成 18 年法律第 117 号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本計画（平成 19 年６ 月29 日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成 22 年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

（３）調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

（４）調査体系

本調査の実施単位は岩手県であるが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10 地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

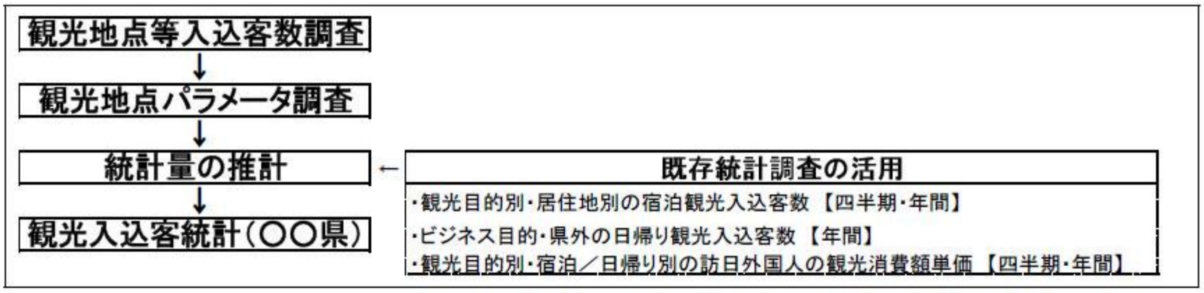


図１　観光入込客統計の調査体系

（５）集計対象（範囲）

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の３つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

①非日常利用が多い（月１回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。

②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。

③観光入込客数が年間１万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が５千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年１月１日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、１度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

（6）用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して１年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的兼観光	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、１人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても１人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客１人の１回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客１人の１回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

（7）その他

①延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは１人の観光客が１回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は１人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば５箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

②調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の４つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。

図２　調査エリア

２．調査結果

（１）調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表１に示すとおり、観光地点総数が 272、行祭事・イベントが 133である。

表１　調査対象地点数

観光地点							行祭事・イベント
総数	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光	その他	
272	36	60	72	60	22	22	133

（２）観光地点等入込客数（延べ人数）

①　総数

平成 24 年７月～９月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で 9,697,146 人回となり、前年度比で 109.8%となった。また、東日本大震災津波発災前の平成 22 年度比では 92.1%となり、平成 24 年４月～６月の平成 22 年度比 97.1%と比べて若干の落ち込みが見られる。これは、いわてデスティネーションキャンペーン終了の影響や、次の「地域別入込客数」で分かるとおり沿岸地域の観光産業復興の遅れが影響しているものと思われる。

②　地域別入込客数

岩手県内の４つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の状況は、表２及び図３に示すとおりである。

入込客数では県南エリアが 3,820,539 人回と最も多く、県北エリアが 1,006,954 人回と最も少ない。しかしながら、平成 23 年度比では県南エリアのみ 97.4%と減少し、それ以外のエリアではいずれも増加している。

また、沿岸エリアの平成 22 年度比は 54.7%となり、100%近くの数値を示している他のエリアに対して大きく落ち込んでいる。入込客数が未だ回復していないことが分かる。

表２　地域別入込客数（延べ人数）

単位:人回

地域区分	7 月	8 月	9 月	平成 24 年度 7-9 期合計	平成 23 年度比	平成 23 年度 7-9 期合計	平成 22 年度比	平成 22 年度 7-9 期合計
県央エリア	707,303	2,147,136	739,158	3,593,597	102.6%	3,502,782	103.1%	3,485,788
県南エリア	953,226	1,673,601	1,193,712	3,820,539	97.4%	3,924,204	104.5%	3,655,844
沿岸エリア	368,893	561,312	345,851	1,276,056	268.2%	475,705	54.7%	2,332,593
県北エリア	237,085	380,783	389,086	1,006,954	108.0%	931,966	95.6%	1,053,219
総計	2,266,507	4,762,832	2,667,807	9,697,146	109.8%	8,834,657	92.1%	10,527,444

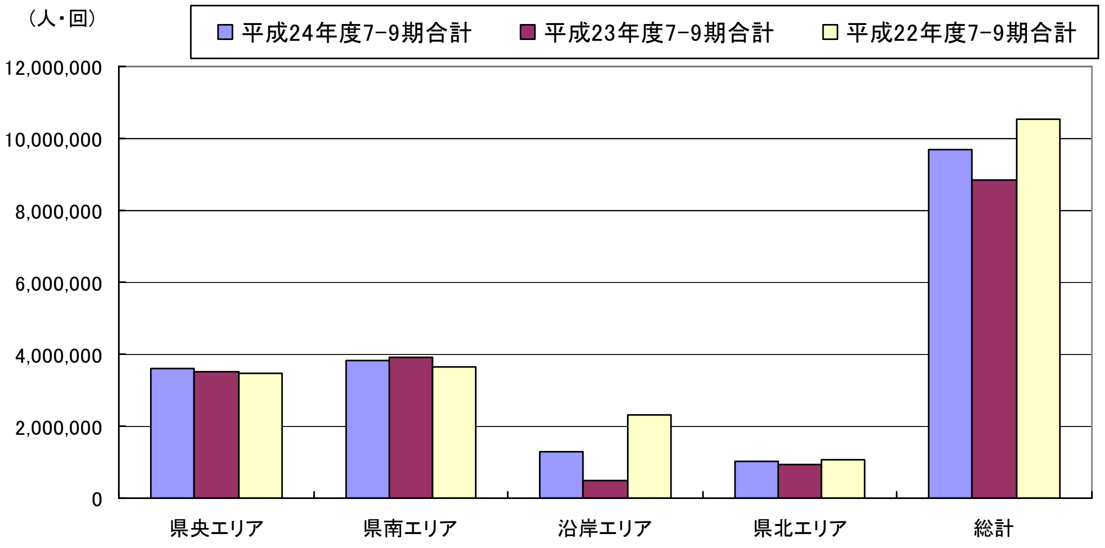


図３　地域別入込客数（延べ人数から算出）

③　月別入込客数

岩手県全体での月別の入込客数（延べ人数）は表３及び図４に示すとおりである。

夏期の休暇日を多く含む８月が4,762,832 人回と最も多くなっている。また、平成 23 年度比では各月とも 100%を超えており、この１年での改善傾向が見られるが、平成 22 年度比では、９月は 101.5%と増加を見せたが、７月、８月は 100%を下回り、未だ震災前の入込には至っていない。夏期ということもあり、沿岸地域の落ち込みが影響している。

表３ 月別入込客数（延べ人数）

単位:人回

月	平成 24 年度	平成 23 年度比	平成 23 年度	平成 22 年度比	平成 22 年度
7 月	2,266,507	113.6%	1,994,304	91.5%	2,477,763
8 月	4,762,832	104.7%	4,549,001	87.9%	5,421,121
9 月	2,667,807	116.4%	2,291,352	101.5%	2,628,560

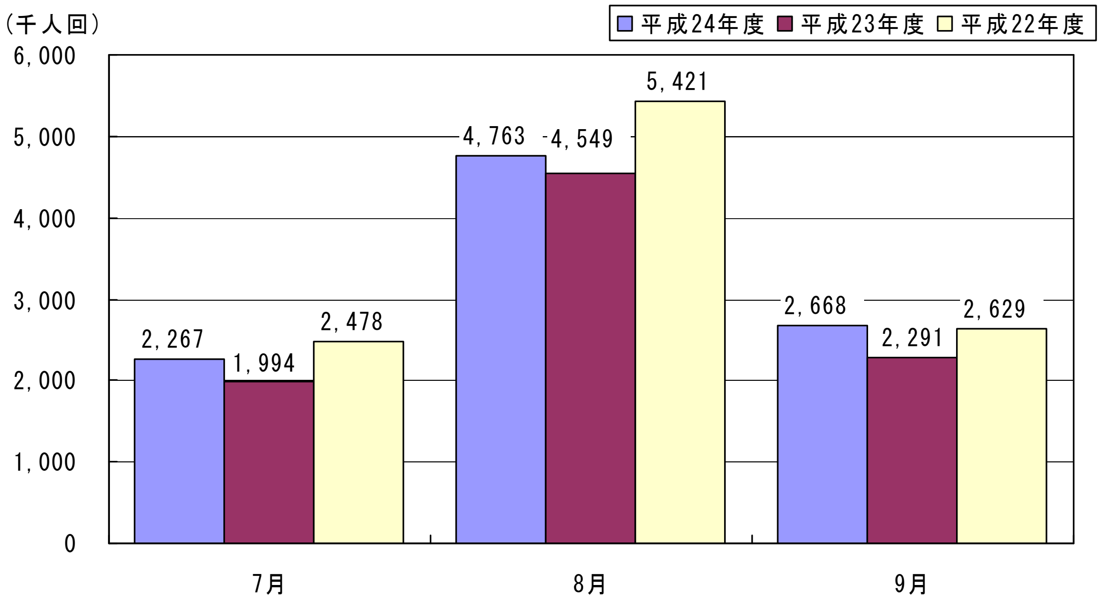


図４　月別入込客数（延べ人数から算出）

④　市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表４並びに図 5-1、5-2、6-1 及び 6-2 に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは盛岡市の 1,964,110 人回で、次いで花巻市の 822,835 人回、一関市の 813,842 人回となった。また、平成 23 年度比では、滝沢村の 1587.0%、山田町の 879.3%等、個別施設の復旧・復興等により大幅に入込客数を回復した市町村も見られる。震災前の平成 22 年度との比較では、平泉町の 172.8%、岩手町の 167.2%等、10 の市町村で入込客数の回復が見られるが、沿岸エリアの市町村では住田町を除き 100%を下回っており、未だ入込に回復が見られない状況にある。

表４　市町村別・月別入込客数（延べ人数）

市町村	7 月	8 月	9 月	平成 24 年度 7-9 期合計	平成 23 年度比	平成 23 年度 7-9 期合計	平成 22 年度比	平成 22 年度 7-9 期合計
盛岡市	256,275	1,471,326	236,509	1,964,110	94.7%	2,073,515	95.2%	2,063,990
宮古市	82,023	153,793	82,775	318,591	322.7%	98,731	80.9%	393,895
大船渡市	133,298	143,918	91,122	368,338	346.0%	106,448	84.9%	433,978
花巻市	173,824	291,872	357,139	822,835	106.3%	773,727	108.3%	759,860
北上市	−	294,000	−	294,000	113.1%	260,000	87.6%	335,700
久慈市	42,289	86,407	130,561	259,257	111.9%	231,723	93.8%	276,270
遠野市	172,665	263,210	206,866	642,741	94.4%	680,782	93.5%	687,357
一関市	237,151	325,812	250,879	813,842	98.4%	827,233	95.3%	853,592
陸前高田市	21,666	24,277	19,750	65,693	−	−	12.7%	517,923
釜石市	33,818	52,662	26,075	112,555	122.5%	91,904	37.4%	301,231
二戸市	37,823	52,148	82,350	172,321	100.4%	171,661	96.1%	179,294
八幡平市	86,824	109,916	81,441	278,181	93.3%	298,025	90.0%	309,234
奥州市	113,840	147,300	106,507	367,647	84.7%	433,945	86.4%	425,555
雫石町	191,179	355,490	200,113	746,782	111.2%	671,838	138.2%	540,321
葛巻町	42,520	53,115	37,301	132,936	99.9%	133,056	93.6%	142,013
岩手町	23,811	31,296	55,685	110,792	144.0%	76,936	167.2%	66,263
滝沢村	32,495	47,421	36,836	116,752	1587.0%	7,357	116.3%	100,371
紫波町	41,092	57,968	71,492	170,552	103.5%	164,847	96.1%	177,477
矢巾町	33,107	20,604	19,781	73,492	95.2%	77,208	85.3%	86,119
西和賀町	40,754	50,535	37,484	128,773	94.3%	136,531	105.2%	122,462
金ヶ崎町	30,636	30,488	30,750	91,874	100.6%	91,358	101.9%	90,143
平泉町	184,356	270,384	204,087	658,827	91.4%	720,628	172.8%	381,175
住田町	10,707	18,061	11,776	40,544	103.7%	39,116	107.1%	37,867
大槌町	−	−	1,500	1,500	−	−	1.6%	96,145
山田町	19,497	33,183	35,251	87,931	879.3%	10,000	93.4%	94,166
岩泉町	38,484	82,718	49,702	170,904	157.0%	108,846	86.0%	198,658
田野畑村	29,400	52,700	27,900	110,000	532.4%	20,660	42.5%	258,730
普代村	2,785	4,301	4,455	11,541	76.8%	15,033	98.0%	11,772
軽米町	8,605	20,680	47,801	77,086	142.6%	54,049	96.9%	79,516
野田村	23,655	30,277	26,582	80,514	105.1%	76,582	85.8%	93,891
九戸村	7,498	7,139	6,440	21,077	102.1%	20,652	101.4%	20,795
洋野町	78,501	89,986	60,101	228,588	112.6%	202,929	96.3%	237,250
一戸町	35,929	89,845	30,796	156,570	98.3%	159,337	101.4%	154,431
総　計	2,266,507	4,762,832	2,667,807	9,697,146	109.8%	8,834,657	92.1%	10,527,444

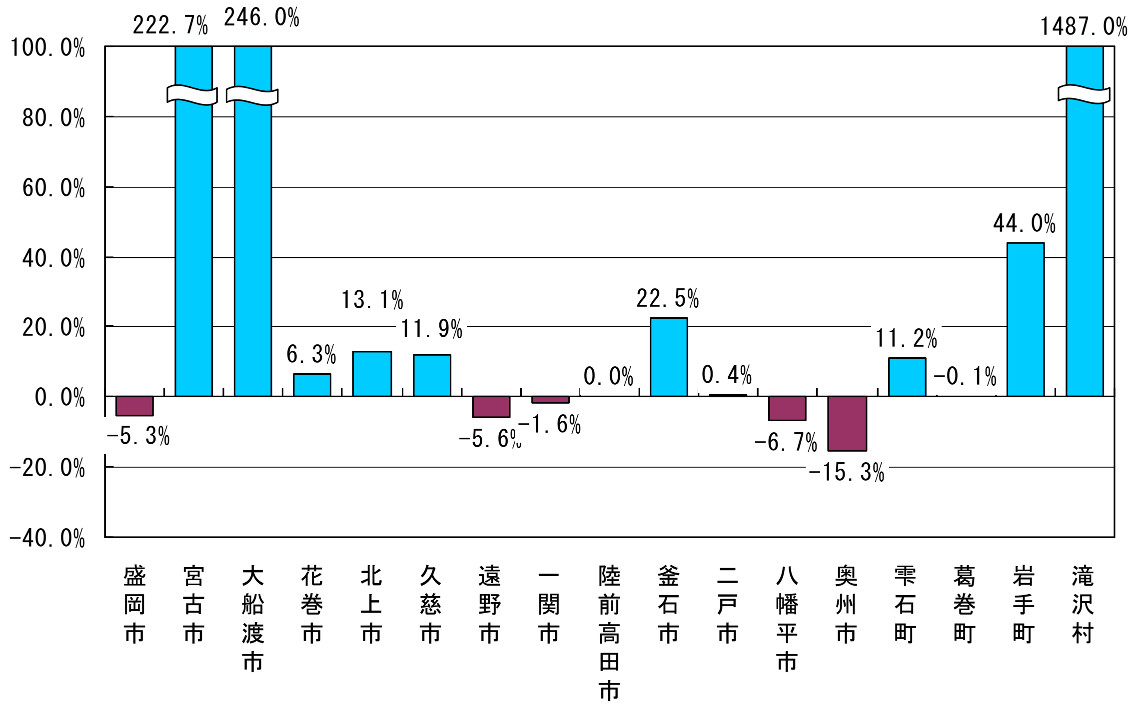


図５－１　市町村別・月別入込客数　平成 23 年度増減比（１）

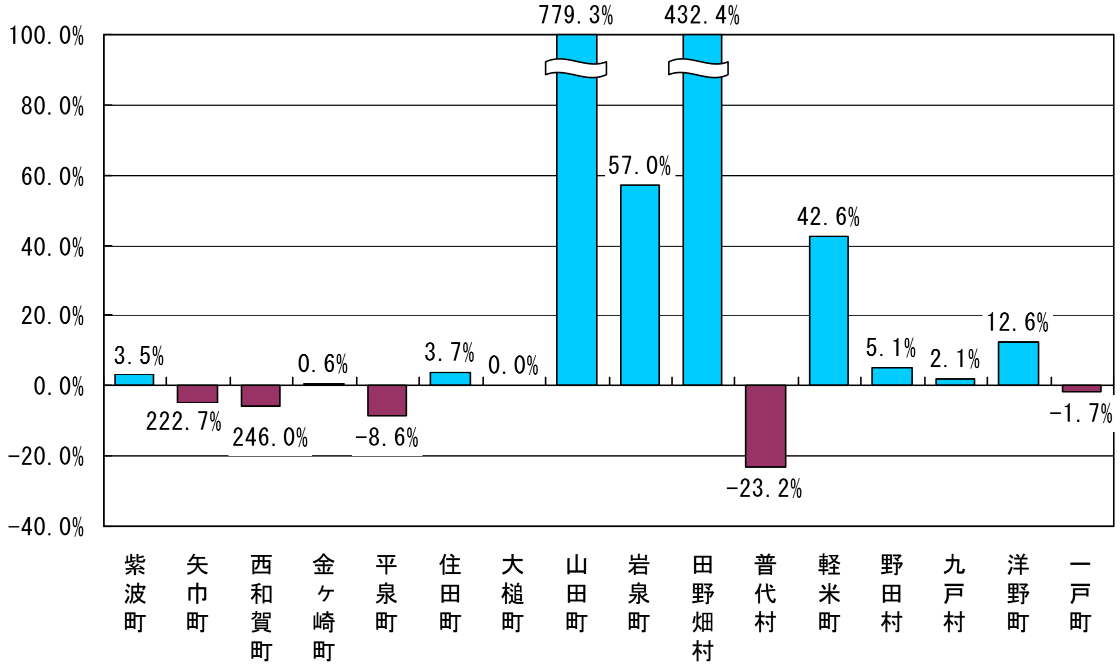


図５－２　市町村別・月別入込客数　平成 23 年度増減比（２）

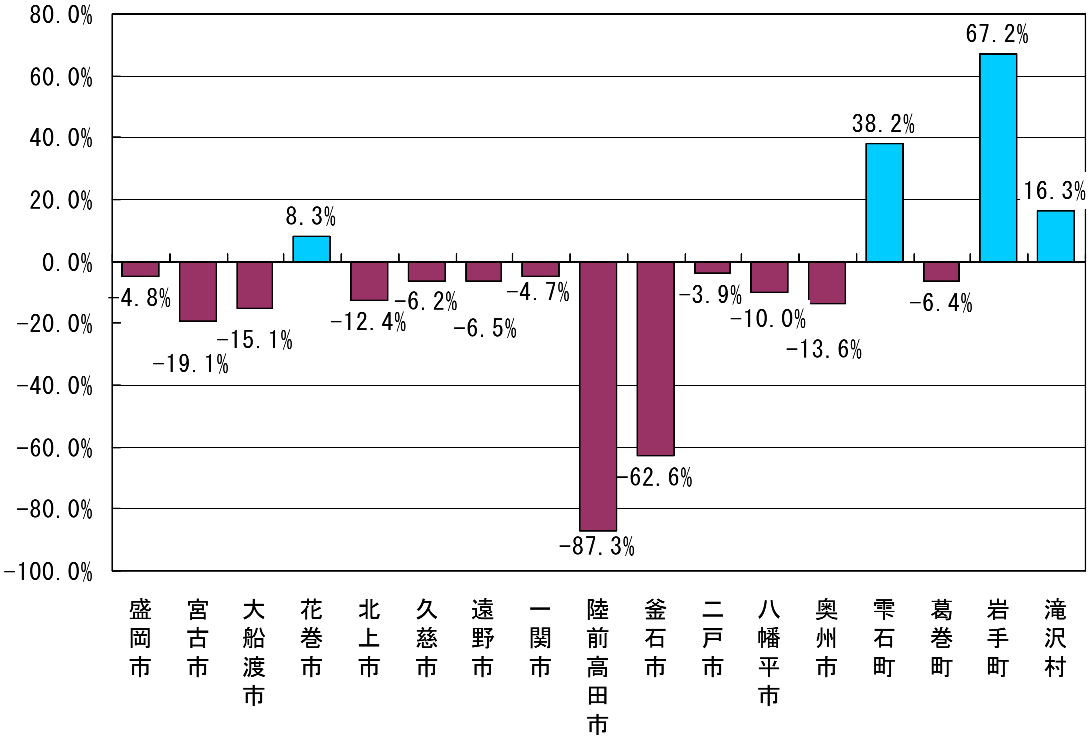


図６－１　市町村別・月別入込客数　平成２２年度増減比（１）

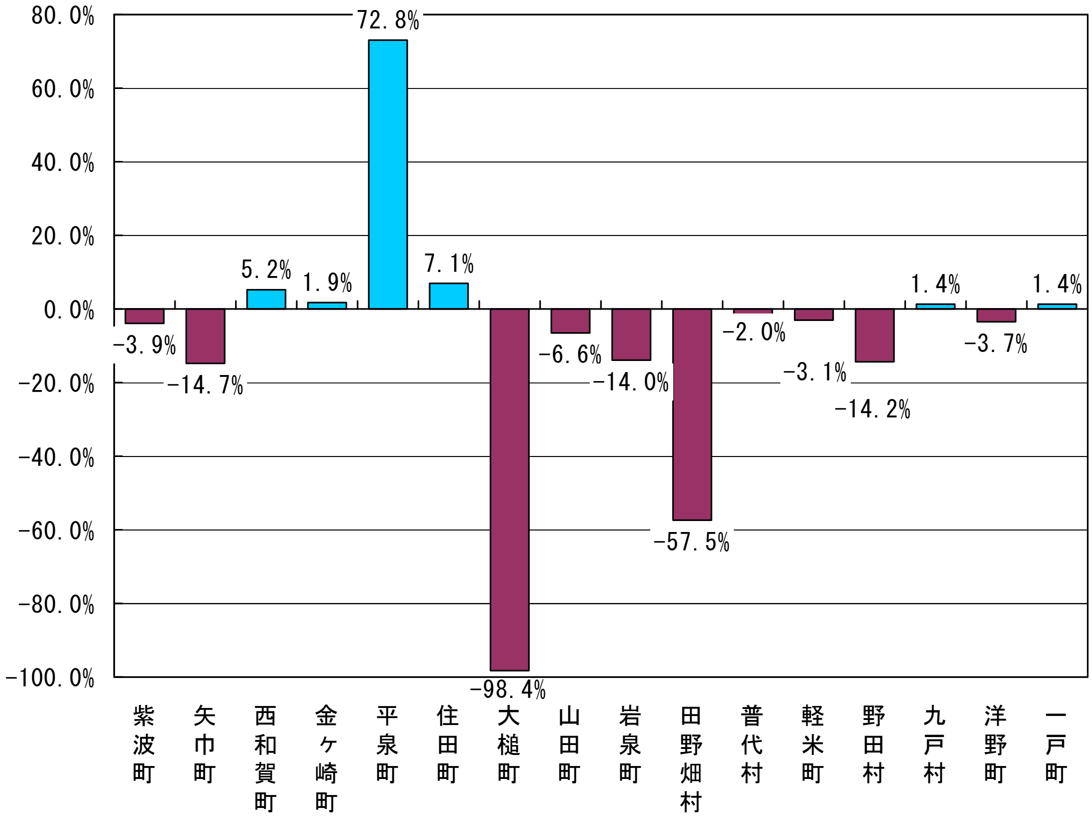


図６－２　市町村別・月別入込客数　平成２２年度増減比（２）

⑤　地域別・分類別入込客数

岩手県内の地域別・分類別の入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表５及び図７に示すとおりである。

岩手県全体で見ると「行祭事・イベント」が2,654,217 人回と最も多く、県南エリアと沿岸エリアを除く各地域で最も多い入込割合を占めている。次いで「自然」の 1,680,853 人回となり、これは、沿岸エリアで最も多い入込割合となっている。その他、県南エリアでは「歴史・文化」の入込割合が多く、沿岸エリアで「自然」に次いで多い「その他」は道の駅等での入込客が主となっている。

表５ 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史･文化	温泉･健康	スポーツ･レクリエーション	都市型観光（買物･食）	その他	行祭事･イベント
県央エリア	379,639	261,558	580,645	575,393	93,825	245,639	1,456,898
県南エリア	612,822	939,257	573,210	228,487	579,425	38,579	848,759
沿岸エリア	512,093	41,740	89,513	53,771	195,492	310,447	73,000
県北エリア	176,299	47,343	143,185	34,394	154,456	175,717	275,560
総計	1,680,853	1,289,898	1,386,553	892,045	1,023,198	770,382	2,654,217

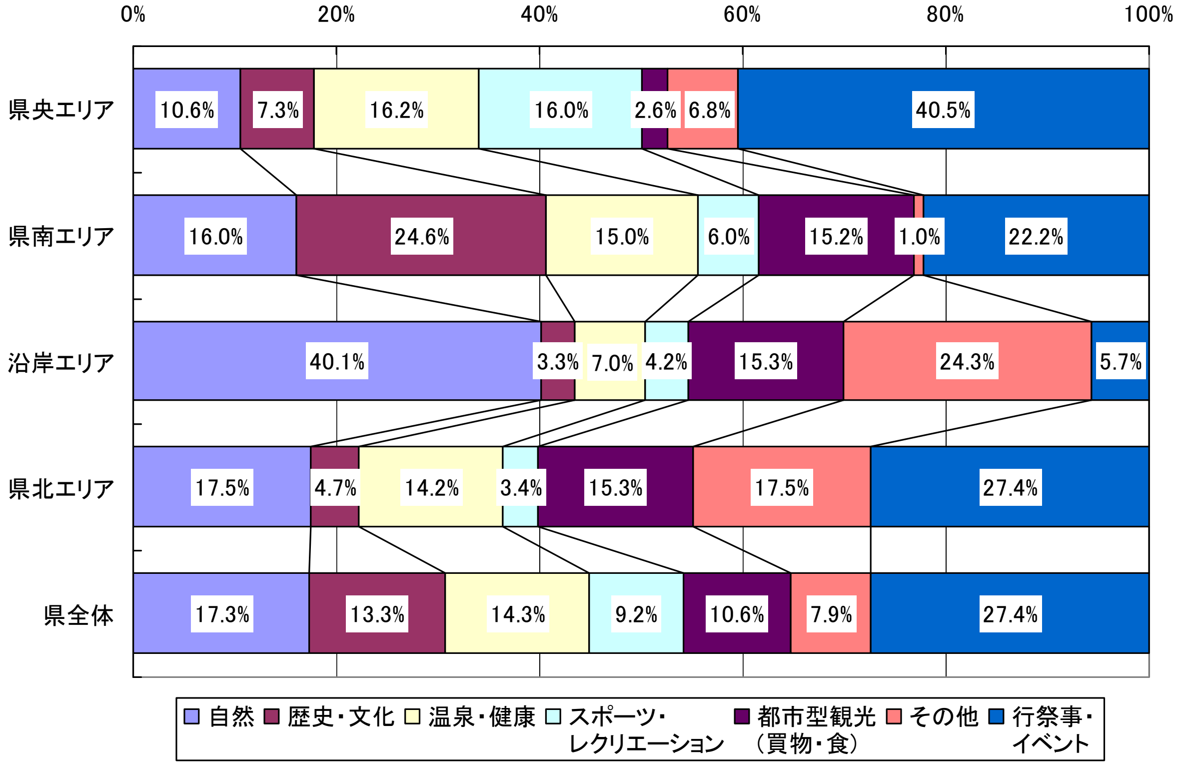


図７　地域別・分野別入込割合（延べ人数から算出）

（３）観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は表６、表７及び図８に示すとおりである。

なお、この入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除した数値である。１人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても１人・回と数える。

本県を訪れた観光目的の入込客数は、平成 23 年度比 71.0%、平成 22 年度比 85.5%であった。宿泊及び日帰り別では、宿泊客が平成 22 年度同期の水準（99.5%）に戻っているものの、日帰り客は 80.9%と未だ８割程度の水準にとどまり、平成 23 年度比でも 77.9%と落ち込みを見せている。要因として、震災後の沿岸被災地へのボランティアによる入込がピークを過ぎたことに加え、沿岸地域の観光産業の復興が遅れていることが考えられる。

なお、ビジネス兼観光目的の入込客数は、平成 23 年度比 82.8%、平成 22 年度比 110.8%となった。東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ねひと段落したことが考えられる。

表 6-1 日帰り宿泊別・県内県外別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			7-9 期合計
	宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内	
観光目的入込客数	816	570	246	2,005	962	1,043	2,821
平成 23 年度比	58.3%	87.3%	32.9%	77.9%	82.6%	74.1%	71.0%
平成 23 年度 7-9 期合計	1,400	653	747	2,573	1,165	1,408	3,973
平成 22 年度比	99.5%	104.4%	89.8%	80.9%	98.6%	69.4%	85.5%
平成 22 年度 7-9 期合計	820	546	274	2,478	976	1,502	3,298
ビジネス兼観光目的入込客数	556	402	154	17	4	13	573
平成 23 年度比	84.8%	76.9%	115.8%	47.2%	40.0%	50.0%	82.8%
平成 23 年度 7-9 期合計	656	523	133	36	10	26	692
平成 22 年度比	111.2%	110.4%	113.2%	100.0%	44.4%	162.5%	110.8%
平成 22 年度 7-9 期合計	500	364	136	17	9	8	517

（注）入込客数には訪日外国人を含まない。

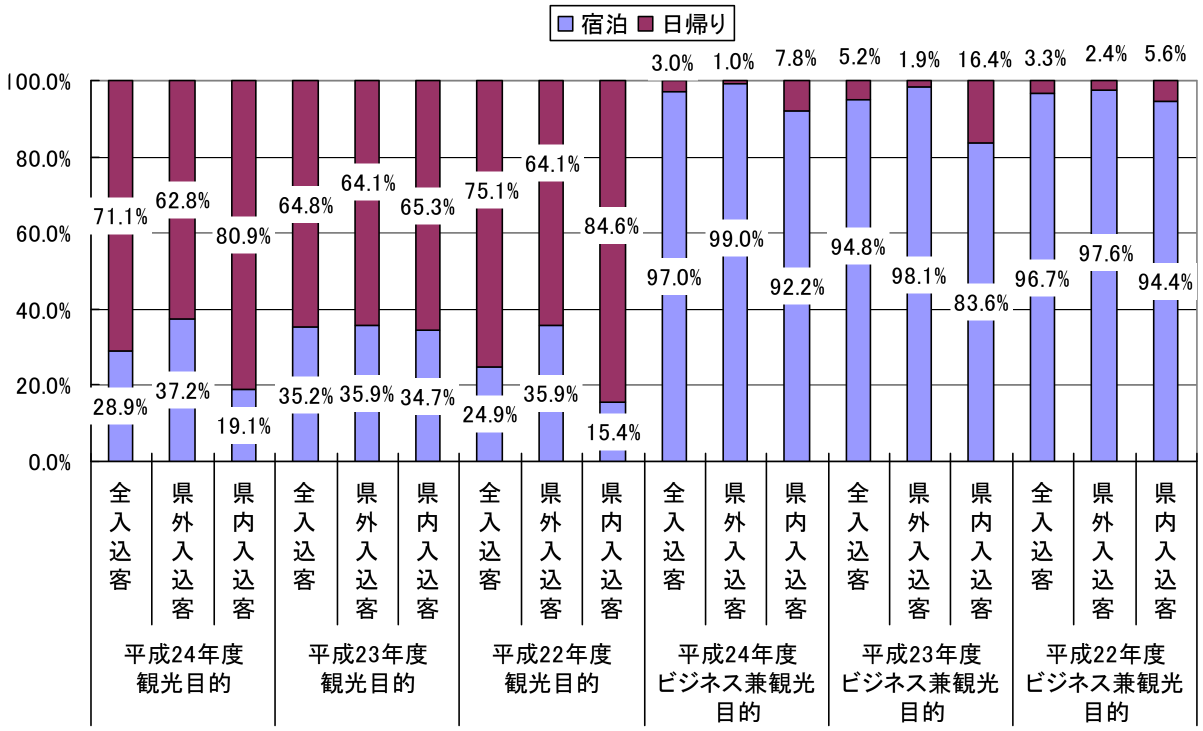


図 8-1　年度別・目的別の宿泊・日帰り割合

表 6-2 県内県外別・日帰り宿泊別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	県外			県内			7-9 期合計
	県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り	
観光目的入込客数	1,532	570	962	1,289	246	1,043	2,821
平成 23 年度比	84.3%	87.3%	82.6%	59.8%	32.9%	74.1%	71.0%
平成 23 年度 7-9 期合計	1,818	653	1,165	2,155	747	1,408	3,973
平成 22 年度比	100.7%	104.4%	98.6%	72.6%	89.8%	69.4%	85.5%
平成 22 年度 7-9 期合計	1,522	546	976	1,776	274	1,502	3,298
ビジネス兼観光目的入込客数	406	402	4	167	154	13	573
平成 23 年度比	76.2%	76.9%	40.0%	105.0%	115.8%	50.0%	82.8%
平成 23 年度 7-9 期合計	533	523	10	159	133	26	692
平成 22 年度比	108.8%	110.4%	44.4%	116.0%	113.2%	162.5%	110.8%
平成 22 年度 7-9 期合計	373	364	9	144	136	8	517

（注）入込客数には訪日外国人を含まない。

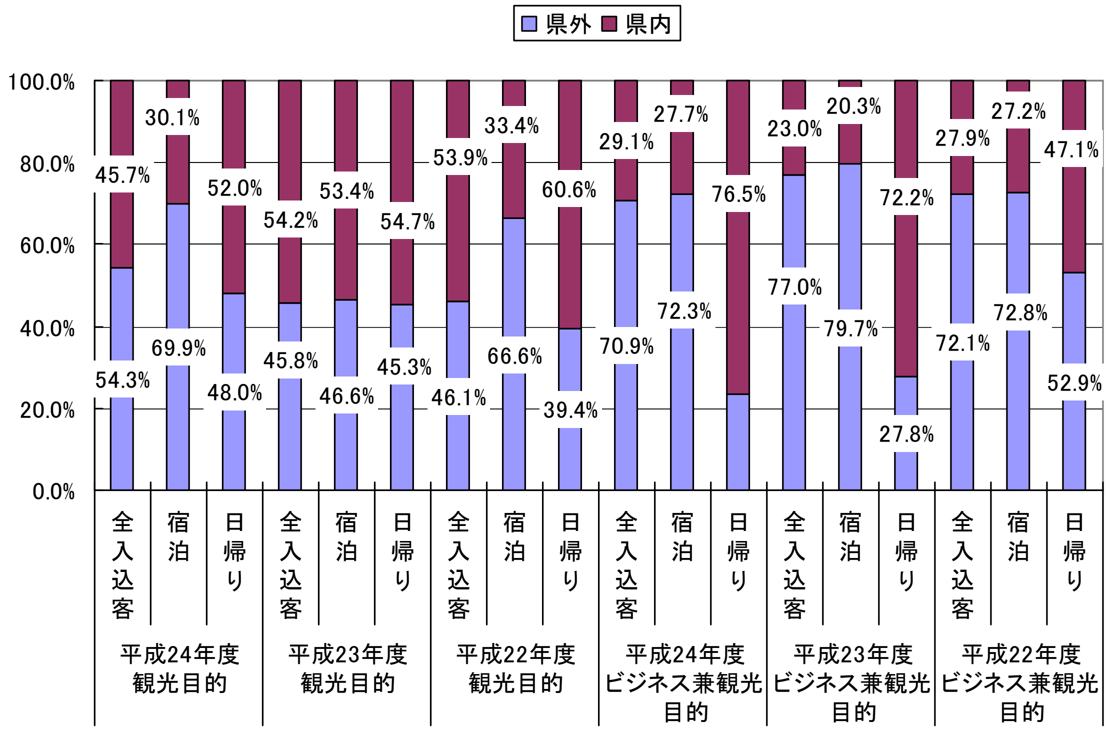


図 8-2 年度別・県内・県外別の宿泊・日帰り割合

また、本県を訪れた訪日外国人入込客数は、平成 23 年度比 150.0%、平成 22 年度比 40.0%であった。要因としては、東日本大震災津波の風評被害等が改善に向かい、外国人観光客が戻りつつあること、平泉が世界文化遺産に登録されたことなどが考えられる。

表 7 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			7-9 期合計
	宿泊計	観光	ビジネス	日帰り計	観光	ビジネス	
訪日外国人入込客数	6	4	2	–	–	–	6
平成 23 年度比	150.0%	200.0%	100.0%	–	–	–	150.0%
平成 23 年度 7-9 期合計	4	2	2	–	–	–	4
平成 22 年度比	40.0%	33.3%	66.7%	–	–	–	40.0%
平成 22 年度 7-9 期合計	15	12	3	–	–	–	15

（４）観光消費額

① 観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）

観光消費額単価は表８、表９及び図９に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客１人の１回の旅行における観光消費額を指す。

観光目的の宿泊客の観光消費額単価は、県内客では、平成 23 年度比 273.8%、平成 22 年度比 74.8%、県外客では、平成 23 年度比 79.8%、平成 22 年度比 80.9%である。県内客、県外客ともに震災前の平成 22 年度の水準に戻りつつあるが、県外客は前年同期の８割程度であった。

また、日帰り客の観光消費額単価は、県内客では、平成 23 年度比 111.3%、平成 22 年度比 77.9%、県外客では、平成 23 年度比 118.7%、平成 22 年度比 63.6%である。県内客、県外客ともに平成 23 年度よりは増加しているが、震災前の平成 22 年度比においては、県外客の戻りが遅れている。

なお、ビジネス兼観光目的の観光消費額単価は、サンプル数が少なく１回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっているが、平成 23 年度からの大幅な落ち込みの要因としては、東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ねひと段落したことが考えられる。

表８ 日帰り宿泊別・県内県外別・観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	県外	県内	県外	県内
観光目的　観光消費額単価	25,735	16,356	8,710	3,023
平成 23 年度比	79.8%	273.8%	118.7%	111.3%
平成 23 年度 7-9 期観光消費額単価	32,232	5,974	7,335	2,716
平成 22 年度比	80.9%	74.8%	63.6%	77.9%
平成 22 年度 7-9 期観光消費額単価	31,798	21,877	13,690	3,881
ビジネス兼観光目的　観光消費額単価	23,174	−	2,912	2,392
平成 23 年度比	8.2%	−	20.1%	97.1%
平成 23 年度 7-9 期観光消費額単価	282,985	−	14,496	2,464
平成 22 年度比	61.4%	−	13.0%	74.8%
平成 22 年度 7-9 期観光消費額単価	37,718	−	22,466	3,200

（注）観光消費額単価には訪日外国人を含まない。

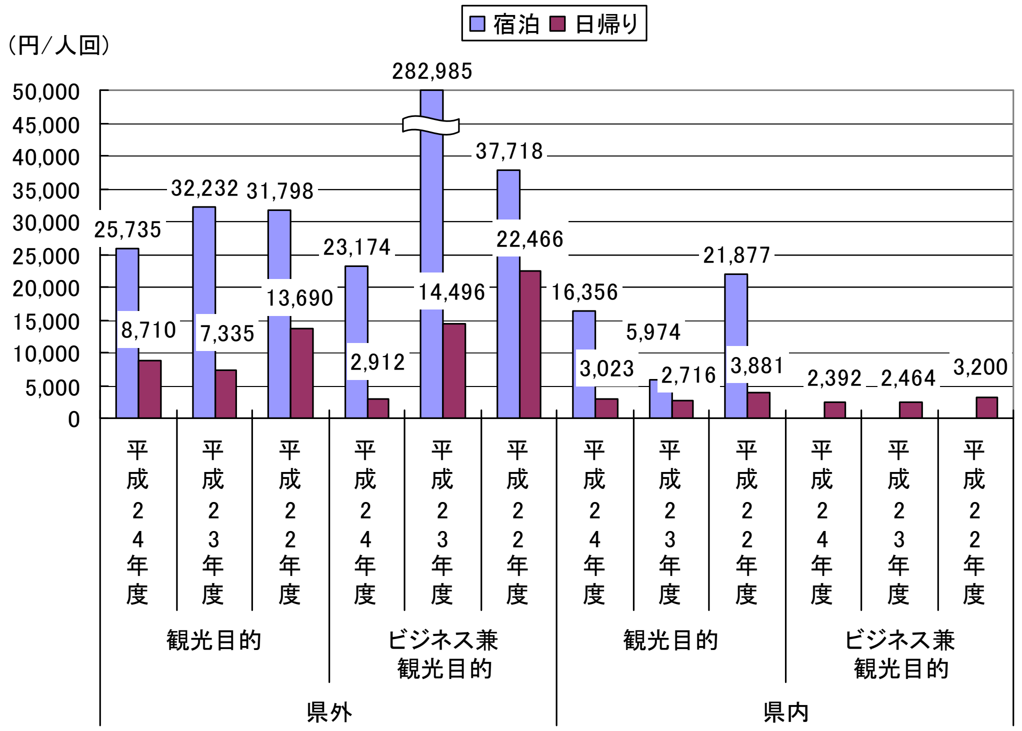


図９　日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額単価

日帰り宿泊別・観光ビジネス別訪日外国人観光消費額単価は表９に示すとおりである。

観光消費額単価は、パラメータ調査での値であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、１回答者の金額の影響が大きく、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表９ 日帰り宿泊別・観光ビジネス別　訪日外国人観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光	ビジネス	観光	ビジネス
訪日外国人 観光消費額単価	52,116	71,219	7,366	8,180
平成 23 年度比	135.7%	108.8%	105.1%	110.9%
平成 23 年度 7-9 期 観光消費額単価	38,417	65,453	7,011	7,373
平成 22 年度比	118.3%	57.9%	90.8%	100.9%
平成 22 年度 7-9 期 観光消費額単価	44,060	122,981	8,109	8,109

② 観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額は表 10 及び図１０に示すとおりである。

観光目的の観光消費額の総額は、平成 23 年度比 79.7%、平成 22 年度比 73.6%である。日帰り宿泊別の平成 23 年度比では、宿泊客より日帰り客の観光消費額が改善傾向にあるが、平成 22 年度比では、宿泊客、日帰り客ともに 73.6%と７割程度となっている。

一方、ビジネス兼観光目的の観光消費額の総額は、平成 23 年度比で 6.3%、平成 22 年度比で 67.9%となっている。平成 23 年度からの大幅な落ち込みの要因としては、東日本大震災津波の復旧・復興支援として長期滞在しているビジネスユースの方の観光も概ねひと段落したことが考えられる。

表 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総数	県外	県内	日帰り総数	県外	県内	
観光目的観光消費額	18,688	14,663	4,025	11,530	8,377	3,153	30,218
平成 23 年度比	73.2%	69.6%	90.1%	93.2%	98.0%	82.5%	79.7%
平成 23 年度 7-9 期観光消費額	25,525	21,060	4,465	12,369	8,545	3,824	37,894
平成 22 年度比	73.6%	73.6%	73.6%	73.6%	73.6%	73.6%	73.6%
平成 22 年度 7-9 期観光消費額	23,372	17,373	5,999	19,195	13,365	5,830	42,567
ビジネス兼観光目的観光消費額	9,318	9,318	−	43	11	32	9,361
平成 23 年度比	6.3%	6.3%	−	20.7%	7.6%	50.0%	6.3%
平成 23 年度 7-9 期観光消費額	148,118	148,118	−	208	144	64	148,326
平成 22 年度比	67.9%	67.9%	−	19.0%	5.4%	133.3%	67.2%
平成 22 年度 7-9 期観光消費額	13,714	13,714	−	226	202	24	13,940

（注）観光消費額には訪日外国人を含まない。

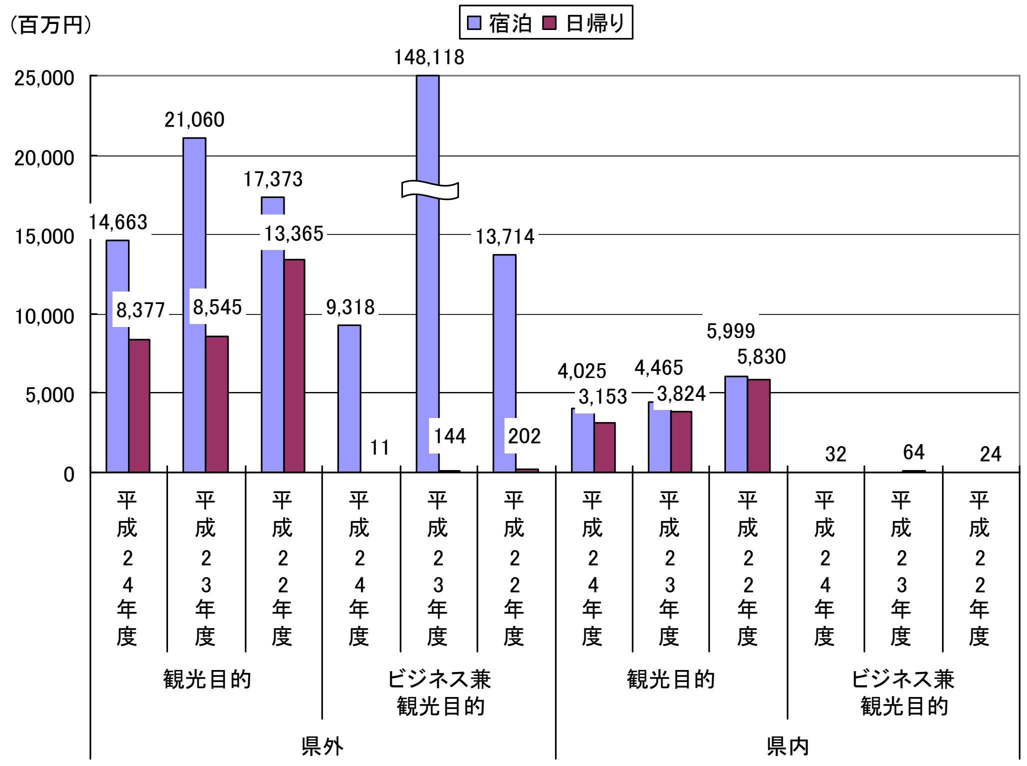


図 10　日帰り宿泊別・県内県外観光消費額

日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額は表 11 に示すとおりである。

訪日外国人の観光消費額の総額は、平成 23 年度比 233.3%、平成 22 年度比 43.4%である。また、平成 23 年度比の観光とビジネスの内訳に着目すると、夏期休暇を含む時期であることから、観光における消費額は回復傾向が強くなっている。

一方、この観光消費額は、表９で示した観光消費額単価に、表７に示した入込客数を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人のようなサンプル数が少ない数値については、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表 11 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総額	観光	ビジネス	日帰り総額	観光	ビジネス	
訪日外国人観光消費額	378	223	155	－	－	－	378
平成 23 年度比	233.3%	384.5%	149.0%	－	－	－	233.3%
平成 23 年度 7-9 期観光消費額	162	58	104	－	－	－	162
平成 22 年度比	43.4%	41.2%	47.0%	－	－	－	43.4%
平成 22 年度 7-9 期観光消費額	871	541	330	－	－	－	871

第２部　観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

１．調査概要

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期]　平成24年9月
[調査地点]　下記のとおり、岩手県内の観光地点10ヶ所で実施
[調査内容]　観光の目的、訪問（予定）観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など観光に係る項目
[調査票回収件数]　832件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表 12　アンケート調査票件数、旅行人数（調査地点別）

調査地点			調査実施時期		
	市町村名	地域名	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数（本人含む）
小岩井農場	雫石町	県央地域	9/15	65	242
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	9/16	86	324
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	9/8	86	308
平泉（中尊寺）	平泉町	県南地域	9/15	79	304
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	9/22	78	384
宮沢賢治記念館	花巻市	県南地域	9/29	49	207
道の駅くじ「やませ土風館」	久慈市	県北地域	9/22, 9/23	109	458
なにゃーと物産センター	二戸市	県北地域	9/8, 9/9	92	281
浄土ヶ浜	宮古市	沿岸地域	9/1, 9/2	93	414
碁石海岸	大船渡市	沿岸地域	9/15, 9/16	95	488
合計				832	3, 410

今回実施したアンケート調査結果を集計した結果について、次頁以降において説明する。

2．観光客の動向分析

（1）問１　住まいの地域

問１は、来訪者の住まいの地域に関する設問である。問１の結果を集計しグラフ化したものが、図11である。

この結果、アンケート調査回答者の４割強（40.7%）は岩手県内からの来訪者であり、岩手県外からの来訪者は約６割弱（59.3%）である。海外からの来訪者は０人（0.0%）であった。

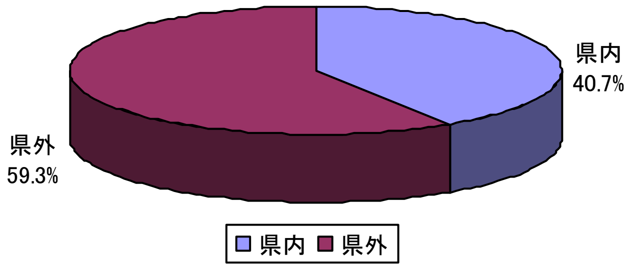


図11　地域別・分類別入込割合（延べ人数から算出）

岩手県外からの来訪者について都道府県別に旅行人数を集計し、グラフ化したものが図12である。

県外客で最も人数が多いのは青森県および宮城県（13.6%）、次いで東京都（12.6%）、秋田県（8.7%）であり、これらの４都県で５割近く（48.5%）を占めている。

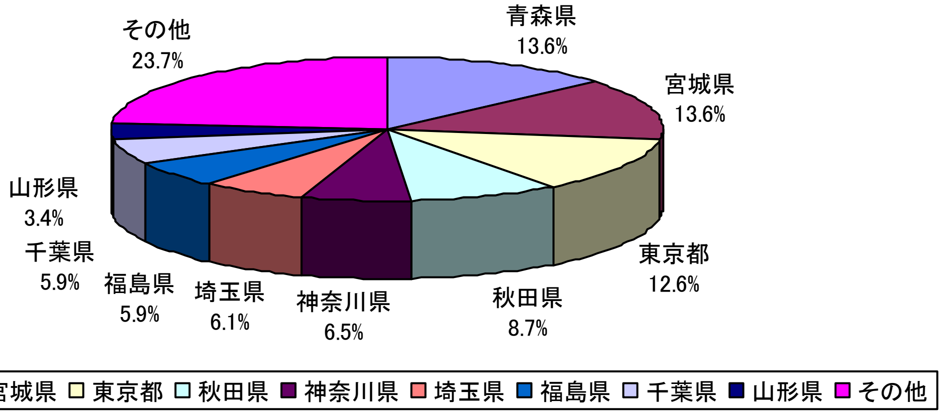


図12　県外客の住まいの地域（岩手県及び来訪者０人の都道府県を除く）

表13　各県当たり観光客数および比率（岩手県及び来訪者０人の県を除く）

青森県	宮城県	東京都	秋田県	神奈川県	埼玉県	福島県	千葉県	山形県
67 人	67 人	62 人	43 人	32 人	30 人	29 人	29 人	17 人
13.6%	13.6%	12.6%	8.7%	6.5%	6.1%	5.9%	5.9%	3.4%
栃木県	茨城県	群馬県	新潟県	愛知県	静岡県	北海道	大阪府	山梨県
14 人	13 人	11 人	11 人	10 人	9 人	6 人	6 人	5 人
2.8%	2.6%	2.2%	2.2%	2.0%	1.8%	1.2%	1.2%	1.0%
長野県	福岡県	富山県	石川県	兵庫県	和歌山県	岡山県	福井県	岐阜県
5 人	5 人	3 人	3 人	2 人	2 人	2 人	1 人	1 人
1.0%	1.0%	0.6%	0.6%	0.4%	0.4%	0.4%	0.2%	0.2%
三重県	京都府	奈良県	山口県	高知県	佐賀県	宮崎県	沖縄県	
1 人	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人	1 人	
0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	

（2）問2　性別・年代

問２は、来訪者の性別、年代に関する設問である。

性別を集計しグラフ化したのが図 13 である。この図より、性別の構成をみると男性が若干多い（55.9%）状況であった。

また、年代構成を集計しグラフ化したのが図 14 である。この図より、合計、岩手県内、岩手県外来訪者とも「60 歳代」が最も多いことがわかる。（合計：25.6%、岩手県内：25.7%、岩手県外：25.6%）また、岩手県内、岩手県外来訪者のいずれも、50 歳代以上が全来訪者の半数以上となった。（岩手県内：51.9%、岩手県外：56.0%）

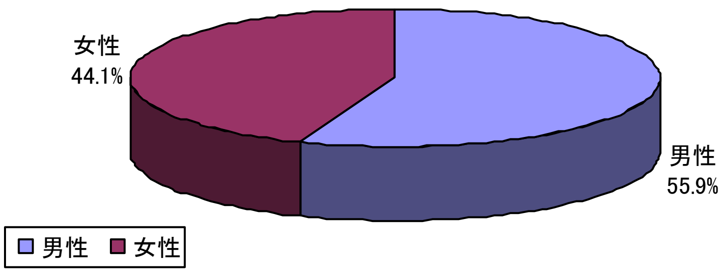
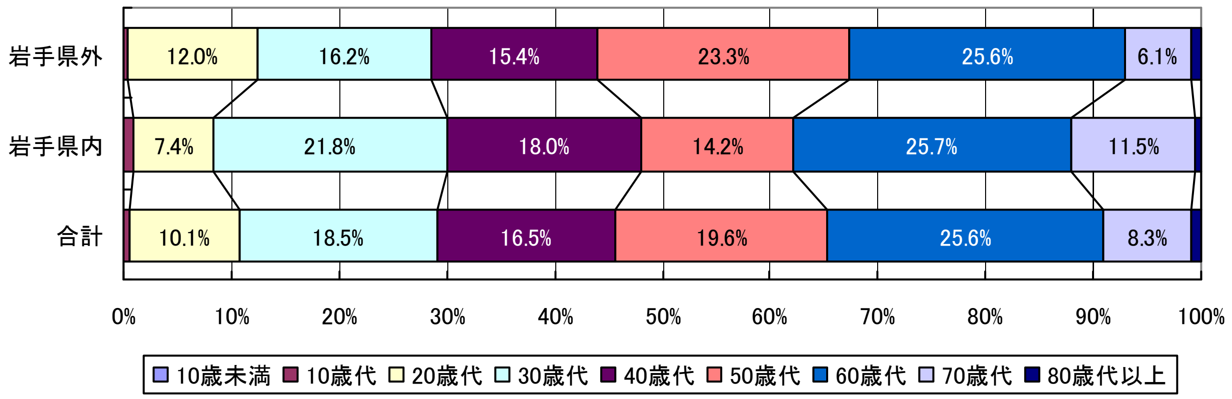


図 13　来訪者の性別



10 歳未満	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳代以上
0.0%	0.6%	10.1%	18.5%	16.5%	19.6%	25.6%	8.3%	0.8%
0.0%	0.9%	7.4%	21.8%	18.0%	14.2%	25.7%	11.5%	0.6%
0.0%	0.4%	12.0%	16.2%	15.4%	23.3%	25.6%	6.1%	1.0%

図 14　岩手県内／外来訪者の年代構成（比率）

（3）問３　宿泊形態および宿泊数

問３は、旅行の日帰り・宿泊の区分、および県内の宿泊に関する設問である。本設問の回答結果を日帰り、宿泊の区分別に集計しグラフ化したのが図 15 である。

来訪者の宿泊形態は日帰り（48.8%）と宿泊（51.2%）がほぼ同じ割合であった。

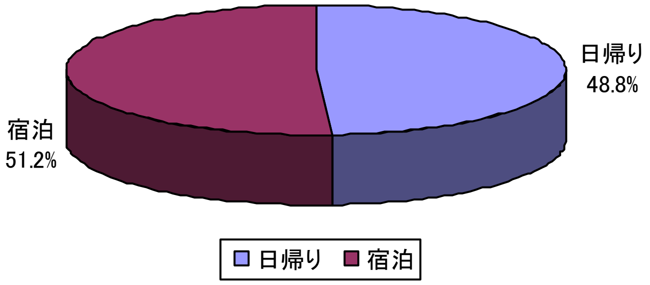


図 15　来訪者の宿泊形態

来訪者の全日程及び岩手県内における宿泊日数を集計しグラフ化したのが図 16、17 である。

宿泊客全体（県外宿泊も含む）の宿泊日数は「1 日」が最も多く、全体の半数近く（48.1%）を占めている。なお、岩手県内宿泊数では、宿泊日数「1 日」の割合が 6 割近くであった。(58.1%)

※宿泊数平均　　2.1(泊)　　県内宿泊数平均　　1.3(泊)

また、利用した岩手県内の宿泊施設の種類数を集計しグラフ化したのが図 18 である。

この図より、岩手県内の宿泊者のほぼ 9 割（90.9%）は、宿泊施設の種類数は「1 種類」であった。

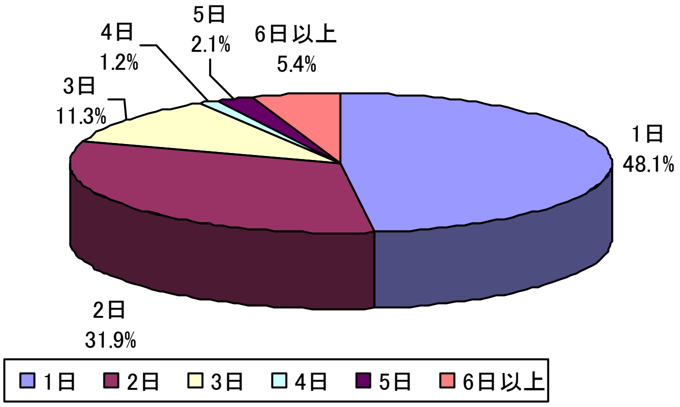


図 16　宿泊数（全日程）

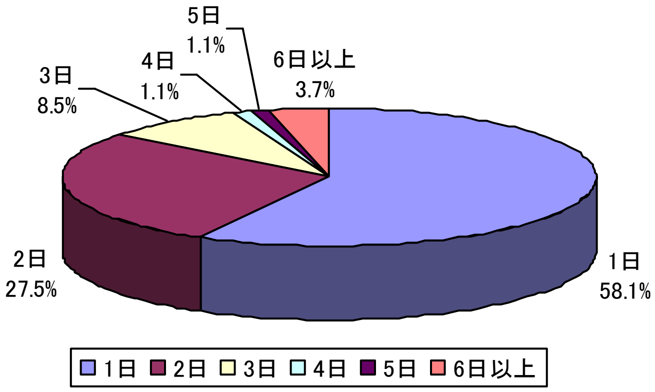


図 17　岩手県内宿泊数

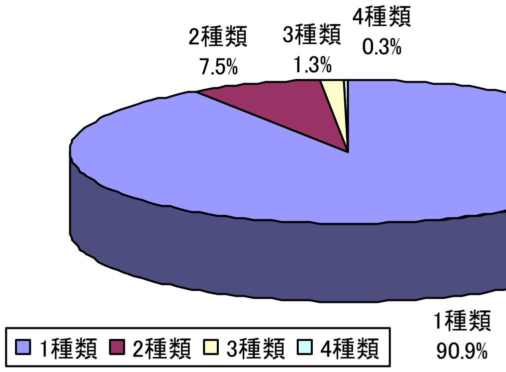


図 18　岩手県内宿泊施設数

利用した県内の宿泊施設の種類を集計しグラフ化したのが図 19 である。県内宿泊者が利用する宿泊施設の種類は「ホテル」(43.7%)が最も多く、次いで「旅館」(22.3%)である。次いで、「実家や知人・親戚宅」(20.6%)であり、これら以外の宿泊施設利用は全て 5%未満であった。

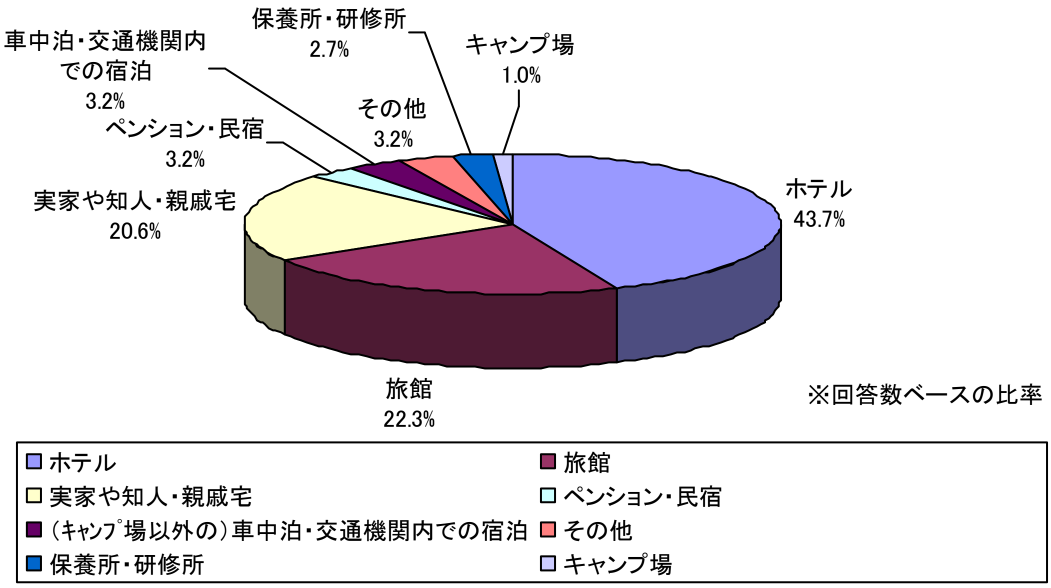


図 19　宿泊施設の種類

表 14　宿泊施設の内訳

実家や知人・親戚宅	旅館	ホテル	ペンション・民宿	保養所・研修所
20.6%	22.3%	43.7%	3.2%	2.7%
83 人	90 人	176 人	13 人	11 人
キャンプ場	(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	別荘・ﾘｿﾞｰﾄﾏﾝｼｮﾝ	会員制の宿泊施設	その他
1.0%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%
4 人	13 人	0 人	0 人	13 人

（4）問４　訪問の目的

問４は、訪問の目的に関する設問である。

本設問の結果を集計しグラフ化したのが図 20 である。訪問の目的は「観光」が 3/4 以上を占めており（76.3%）、次いで「帰省・知人訪問」（10.9%）、「ビジネス」（3.0%）である。

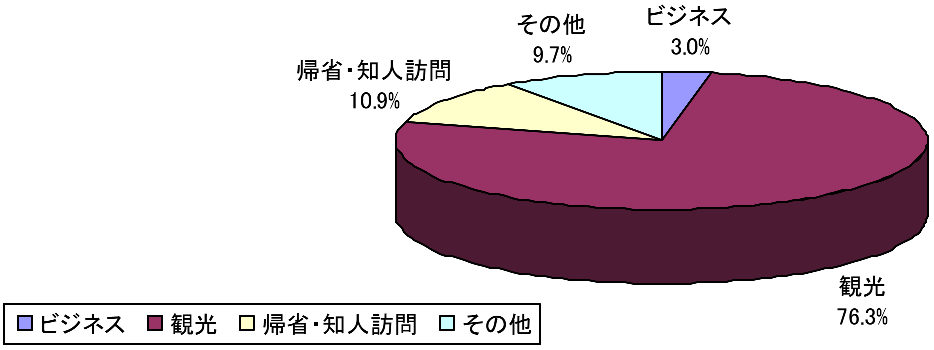


図 20　訪問の目的

（5）問５　旅行人数、同行者のタイプ

問５は、旅行人数および同行者のタイプに関する設問である。

「旅行人数」別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図 21 である。旅行人数が最も多かったのは「2 人」（39.3%）であり、次いで「3 人」（17.7%）、「4 人」（14.3%）であった。

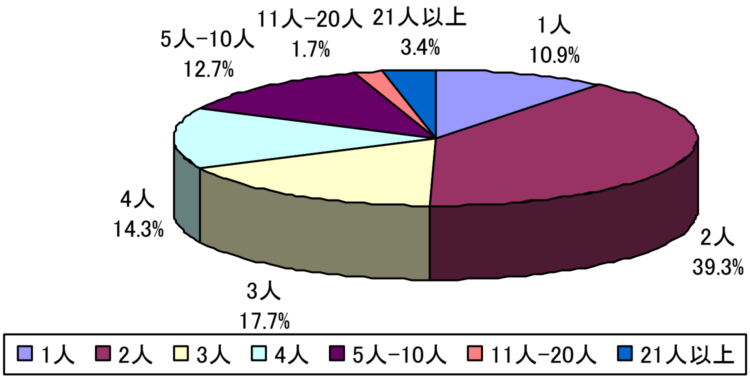


図21　旅行人数

同行者のタイプ別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図 22 である。同行者のタイプとして最も多いのは「家族」（71.8%）で、回答者全体の約 7 割を占めた。次いで「友人」（16.1%）、「職場・学校等の団体旅行」（7.5%）などである。

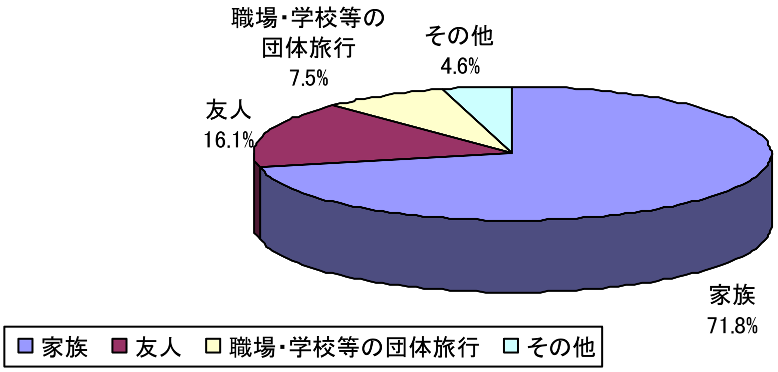


図22　同行者のタイプ

（6）問６　観光地訪問の認知、回数

問６、７は、岩手県内観光地への訪問経験の認知及び、県外からの来訪者に対する岩手県訪問の認知及び回数に関しての設問である。

調査地点とした観光地への訪問の認知度については、全来訪者のうち９割以上（94.0%）が「知っている」と回答した。

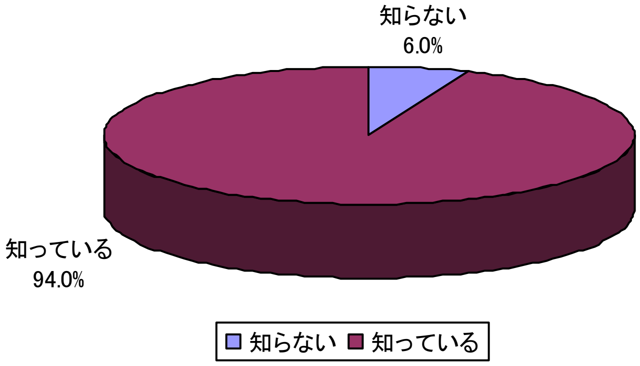


図23　観光地訪問の認知

（7）問７　岩手県訪問の認知、回数（岩手県外の方のみ対象の設問）

問７は岩手県外からの来訪者を対象にした、岩手県への訪問の認知及び回数に関しての設問である。

岩手県への訪問の認知を質問したところ、約９割（92.9%）の来訪者が「知っている」と回答した。

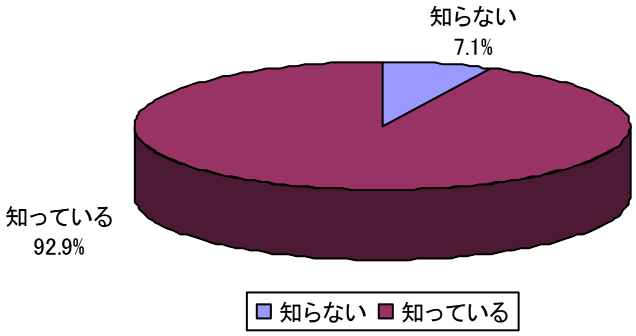


図24　岩手県訪問の認知（岩手県外来訪者）

（8）問８　観光地への交通機関

問８は、岩手県への来県や観光地への訪問で利用した交通機関、および訪問やその予定のある岩手県内観光地やその他立ち寄り都道府県に関する設問である。

調査地点である観光地へ来訪する際に利用した交通機関を集計しグラフ化したものが図25である。

この図より、最も多く利用されているのが「自家用車、社用・公用車」（71.6%）であり、次いで「JR新幹線」（15.7%）、「貸切バス・観光バス」（2.6%）であった。この上位3位で全体の9割近く（89.9%）を占めている。

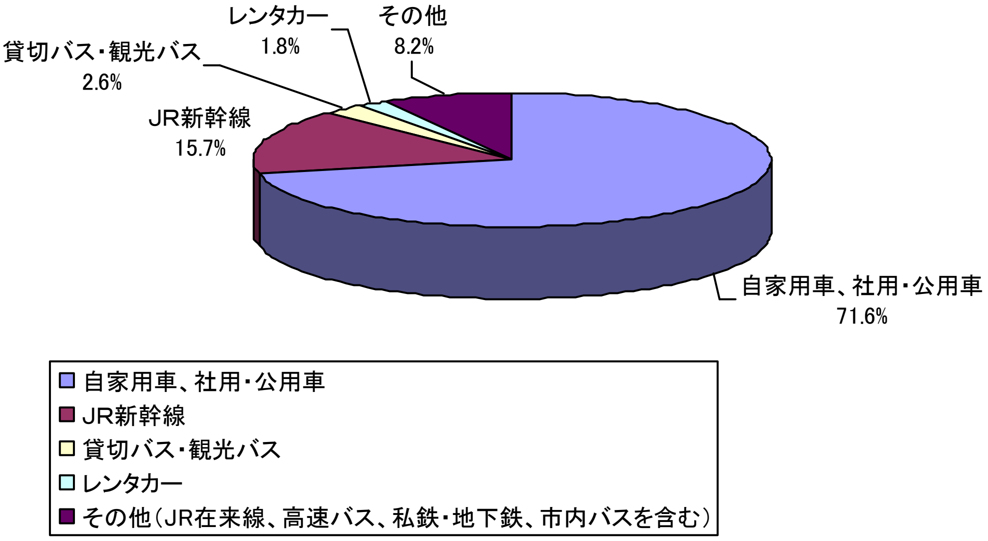


図25　観光地点への交通機関

表15　観光地点への交通機関内訳（比率）

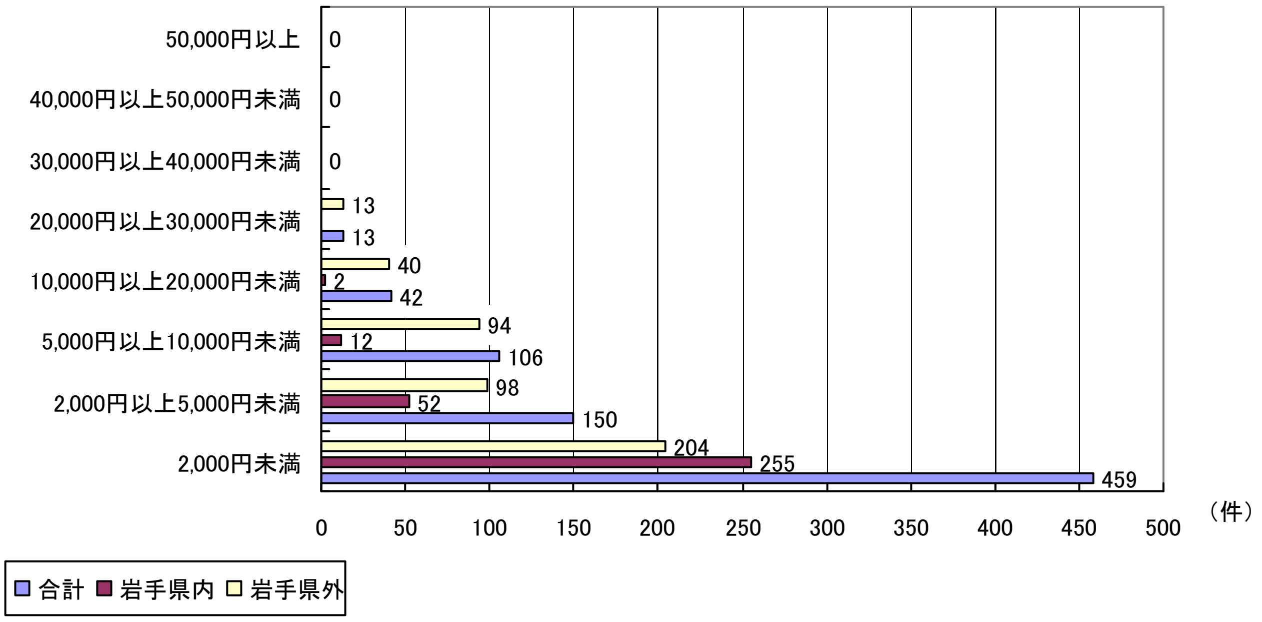
JR新幹線	JR在来線	私鉄・地下鉄	モノレール
15.7%	0.8%	0.2%	0.0%
貸切バス・観光バス	高速バス	市内バス	市内電車
2.6%	0.6%	0.1%	0.0%
タクシー・ハイヤー	レンタカー	自家用車、社用・公用車	その他
0.0%	1.8%	71.6%	6.4%

（９）問９　今回の旅行費用について

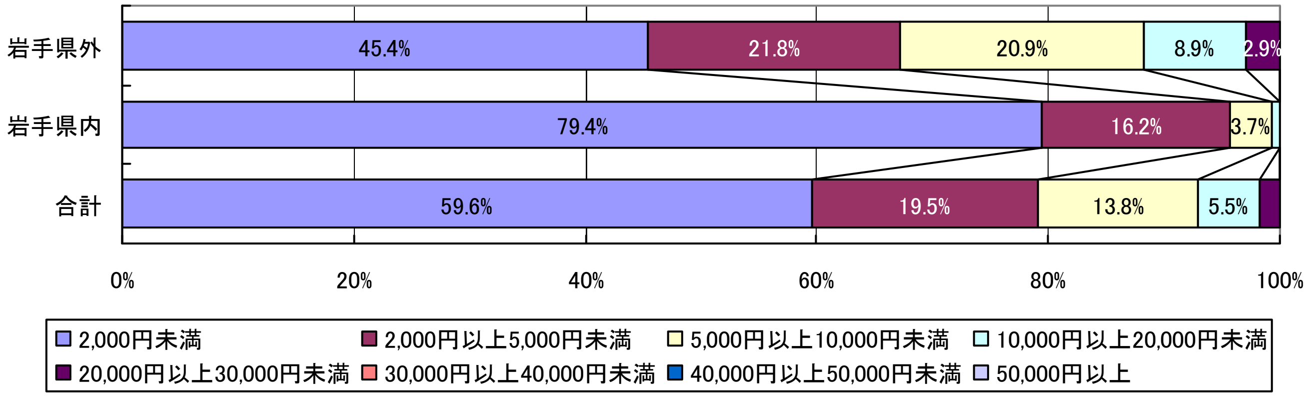
問９は、今回の旅行費用に関する設問である。

１人当たりの岩手県内における交通費を集計しグラフ化したものが図26、27であり、岩手県外に置ける交通費を集計したグラフが図28、29である。

岩手県内の交通費においては、来訪者全体の約６割（59.6%）が「2,000円未満」となっているが、県内からの来訪者がこの価格帯の8割近く（79.4%）を占めているのに対し、県外からの来訪者は約半数（45.4%）にとどまり、残りの半数以上（54.6%）は2,000円以上を支出している。



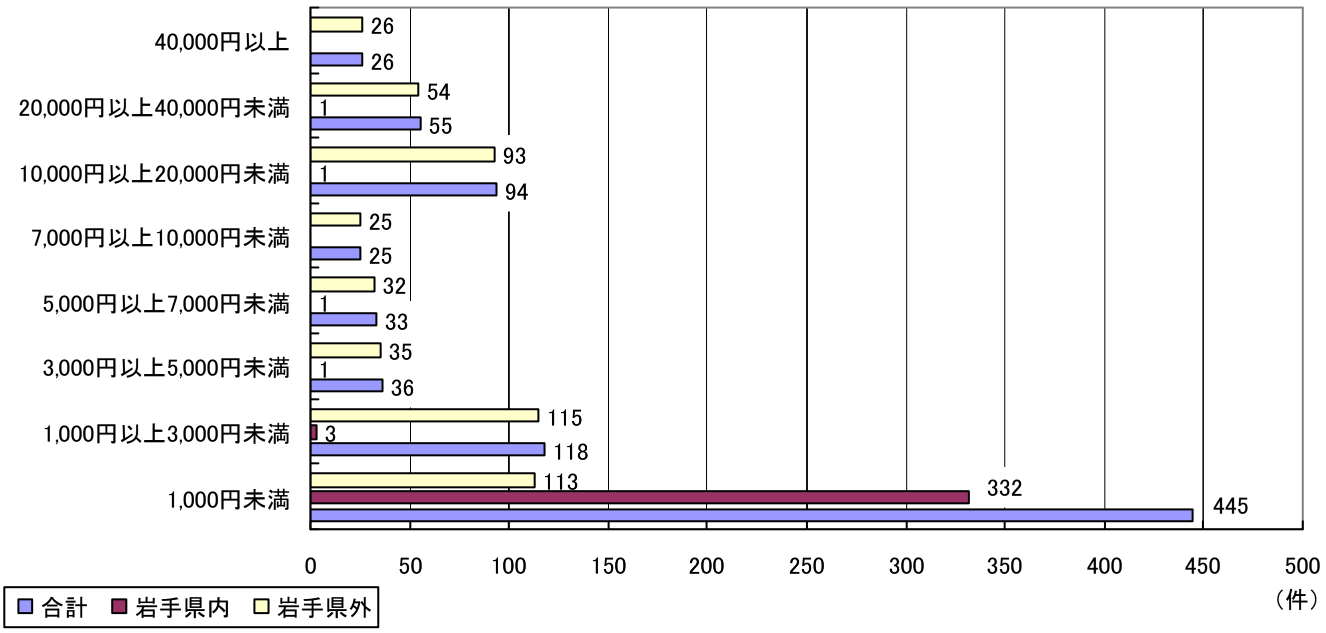
↑　図26　岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・件数）



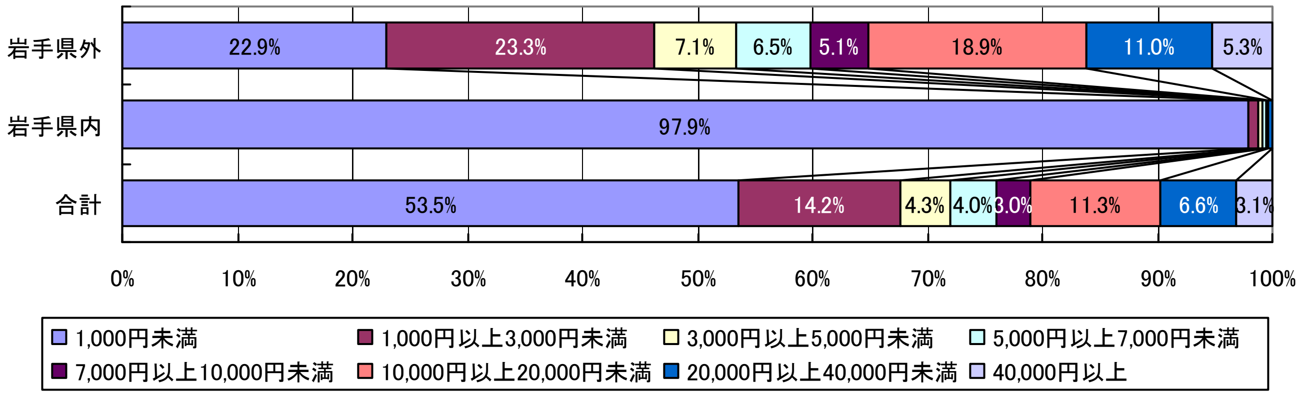
	2,000 円未満	2,000 円以上 5,000 円未満	5,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円以上 30,000 円未満	30,000 円以上 40,000 円未満	40,000 円以上 50,000 円未満	50,000 円以上
合計	59.6%	19.5%	13.8%	5.5%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県内	79.4%	16.2%	3.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	45.4%	21.8%	20.9%	8.9%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%

↑　図27　岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・比率）

岩手県外の交通費においては、来訪者全体の半数強（53.5%）が「1,000円未満」となっている。県内からの来訪者ではこの価格帯で9割以上（97.9%）を占めるものの、県外からの来訪者では2割程度（22.9%）にとどまっている。県内からの来訪者の大半が岩手県内のみの旅程であることが窺える。



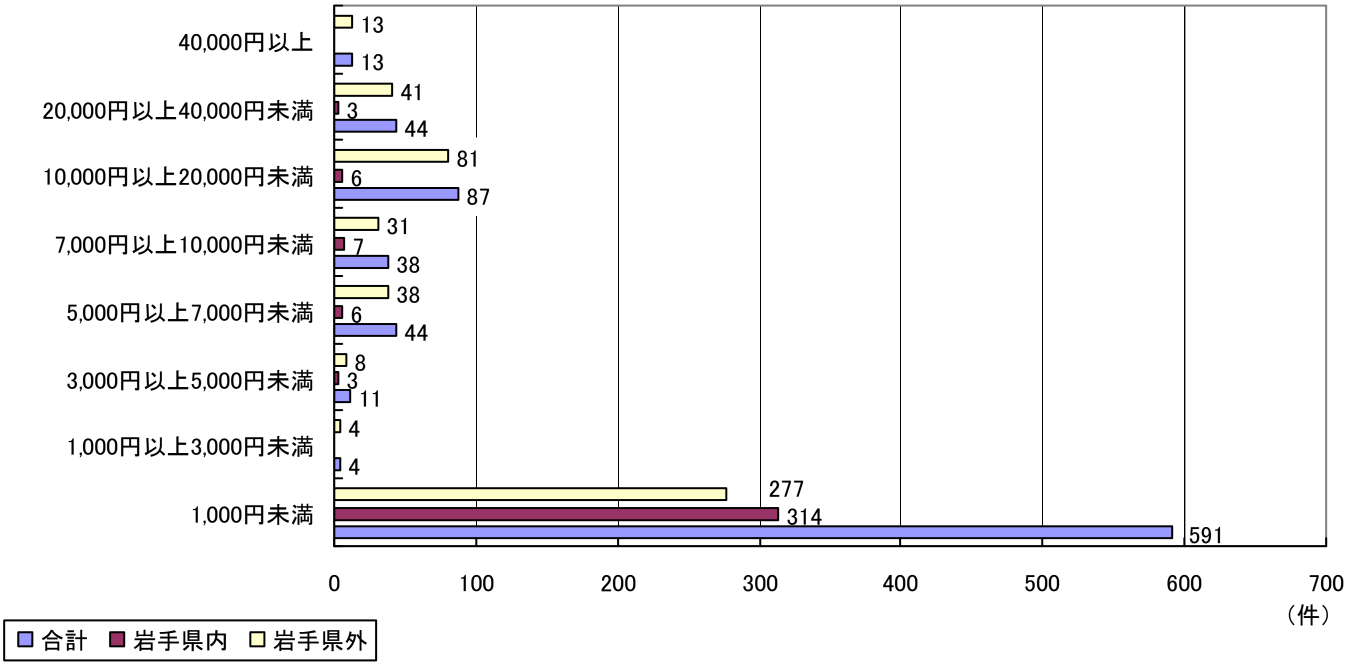
↑　図28　岩手県内／外交通費比較（岩手県外・件数）



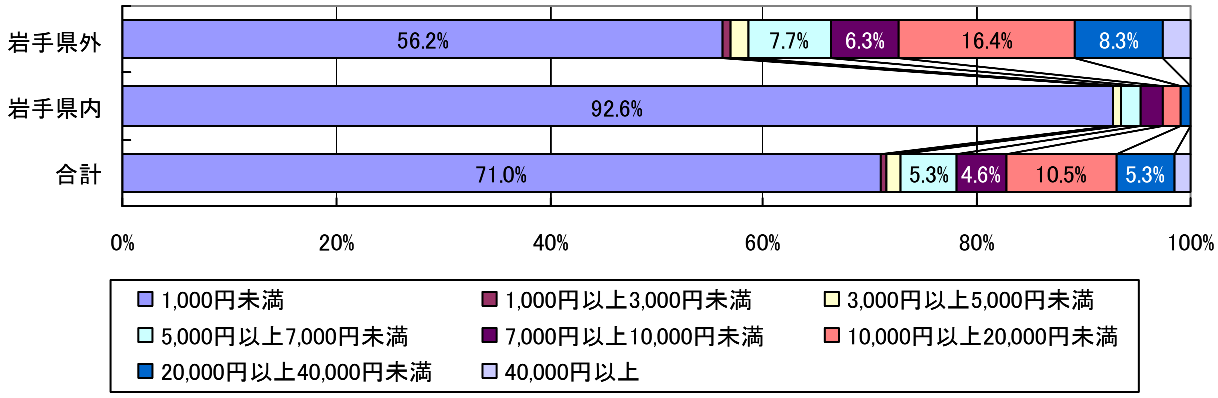
	1,000 円未満	1,000 円以上 3,000 円未満	3,000 円以上 5,000 円未満	5,000 円以上 7,000 円未満	7,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円以上 40,000 円未満	40,000 円以上
合計	53.5%	14.2%	4.3%	4.0%	3.0%	11.3%	6.6%	3.1%
岩手県内	97.9%	0.9%	0.3%	0.3%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%
岩手県外	22.9%	23.3%	7.1%	6.5%	5.1%	18.9%	11.0%	5.3%

↑　図29　岩手県内／外交通費比較（岩手県外・比率）

本設問より、１人当たりの岩手県内における宿泊費を集計しグラフ化したものが図30、31である。
宿泊費を県内・県外の来訪者別に比較すると、双方とも「1,000円未満」が最も多い。これは全来訪者のうち日帰りの割合が半数余り（48.8%）を占めていることに所以する。



↑　図30　岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・件数）

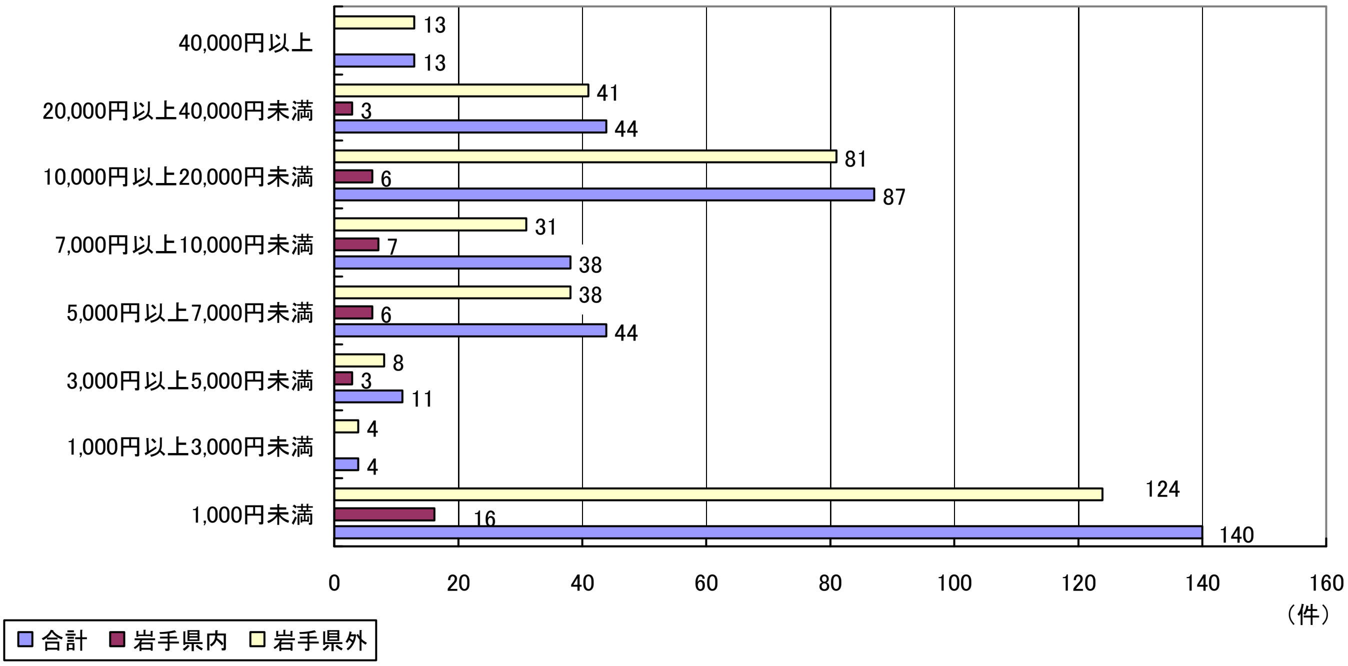


	1,000 円未満	1,000 円以上 3,000 円未満	3,000 円以上 5,000 円未満	5,000 円以上 7,000 円未満	7,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円以上 40,000 円未満	40,000 円以上
合計	71.0%	0.5%	1.3%	5.3%	4.6%	10.5%	5.3%	1.6%
岩手県内	92.6%	0.0%	0.9%	1.8%	2.1%	1.8%	0.9%	0.0%
岩手県外	56.2%	0.8%	1.6%	7.7%	6.3%	16.4%	8.3%	2.6%

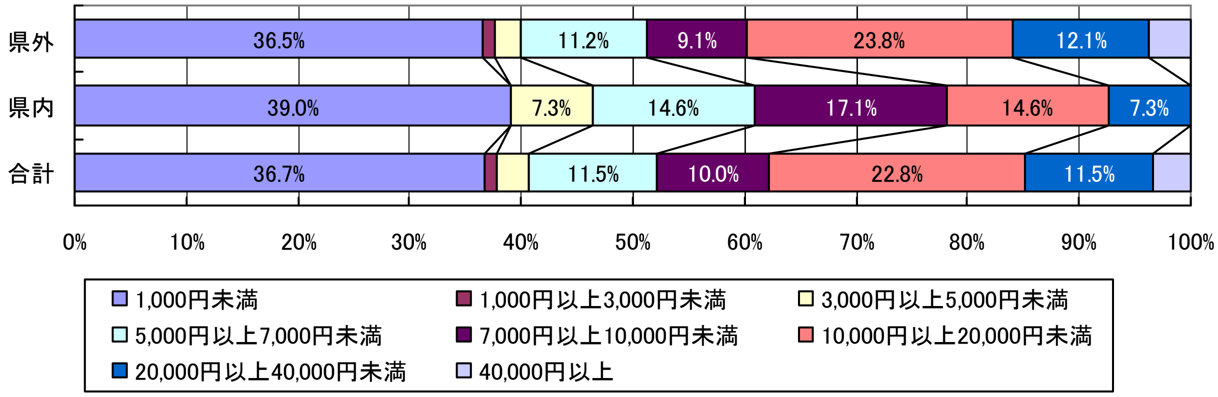
↑　図31　岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・比率）

図30、図31で用いたデータより、日帰り来訪者及びパックツアー利用者を除外して再集計しグラフ化したものが、図30-1、図31-1である。

件数では「1,000円未満」と「5,000円以上（～40,000円以上の5項目）」に2つのピークがあり、前者が約４割、後者が約６割であった。前者に関しては、宿泊施設の選択肢「実家や知人・親戚宅利用」の約２割（20.6%）が影響しているものと思われる。また、県内・県外の来訪者別での宿泊件数では、県外来訪者が県内来訪者の8倍以上であった（県内来訪者：41件、県外来訪者：340件）。



↑　図30-1　岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・件数　パックツアー利用者を除く宿泊者のみ）

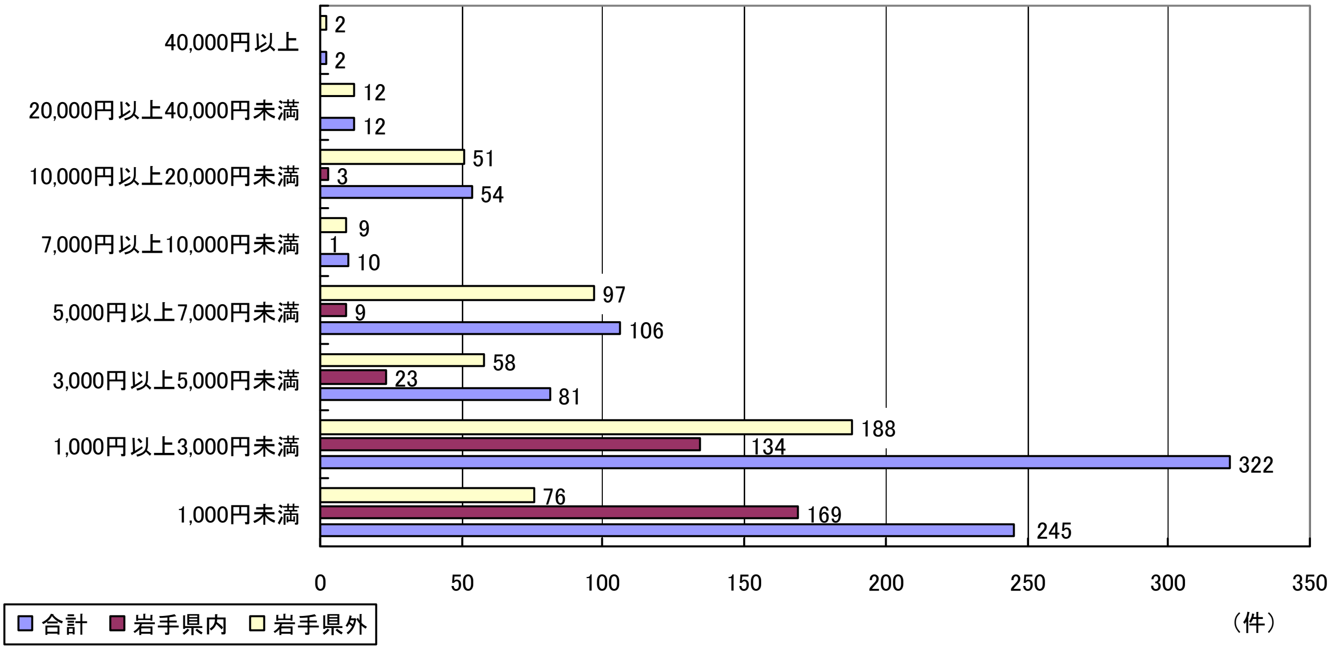


	1,000 円未満	1,000 円以上 3,000 円未満	3,000 円以上 5,000 円未満	5,000 円以上 7,000 円未満	7,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円以上 40,000 円未満	40,000 円以上
合計	36.7%	1.0%	2.9%	11.5%	10.0%	22.8%	11.5%	3.4%
岩手県内	39.0%	0.0%	7.3%	14.6%	17.1%	14.6%	7.3%	0.0%
岩手県外	36.5%	1.2%	2.4%	11.2%	9.1%	23.8%	12.1%	3.8%

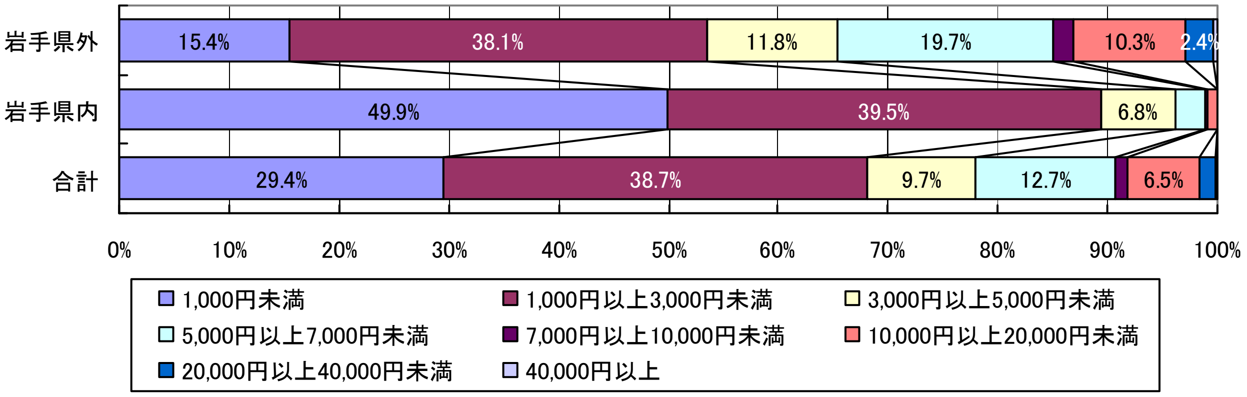
↑　図31-1　岩手県内／外宿泊費比較（岩手県内・比率　パックツアー利用者を除く宿泊者のみ）

本設問より、１人当たりの土産代を集計しグラフ化したのが図32、33である。

この図より、１人当たりの土産代は、合計では「1,000円以上 3,000円未満」が38.7%と最も多く、3,000円未満の内訳をみると、県内からの来訪者は約９割（89.4%）となり、県外からの来訪者は約半数（53.5%）にとどまっている。3,000円以上の価格帯を土産代で支出しているのは、その多くが県外来訪者であった（県内来訪者：10.6%、県外来訪者：46.5%）。



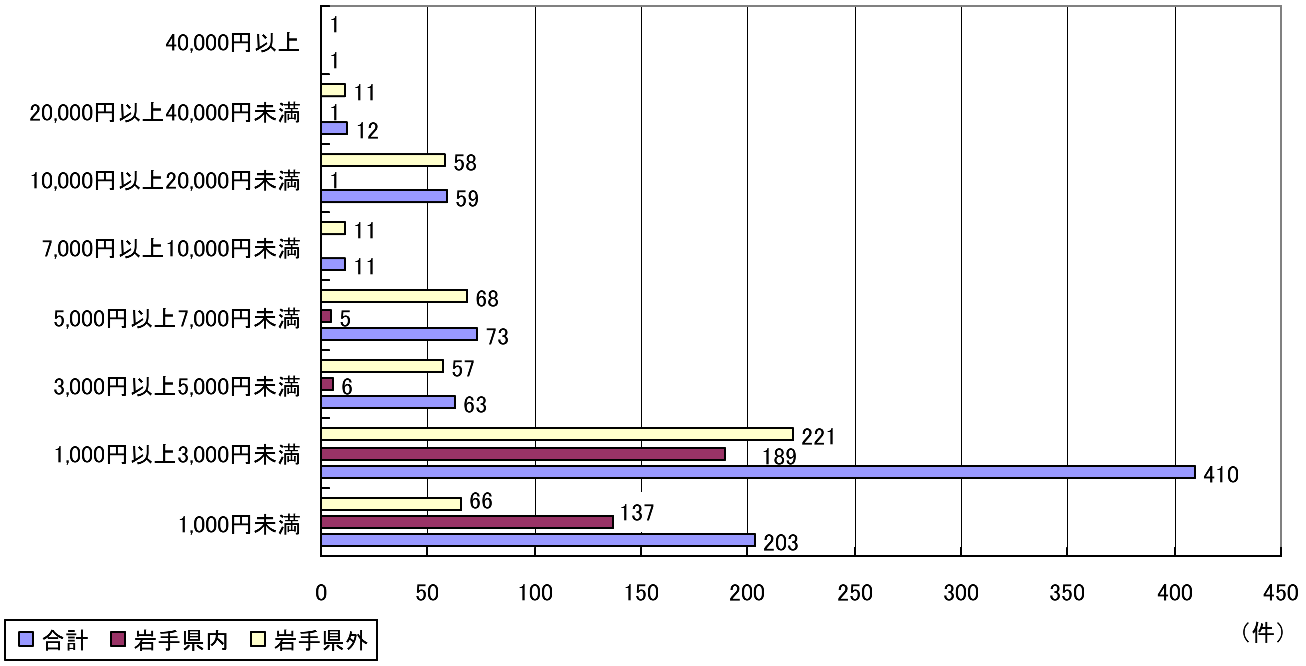
↑　図32　岩手県内／外旅行費用の比較（土産代・件数）



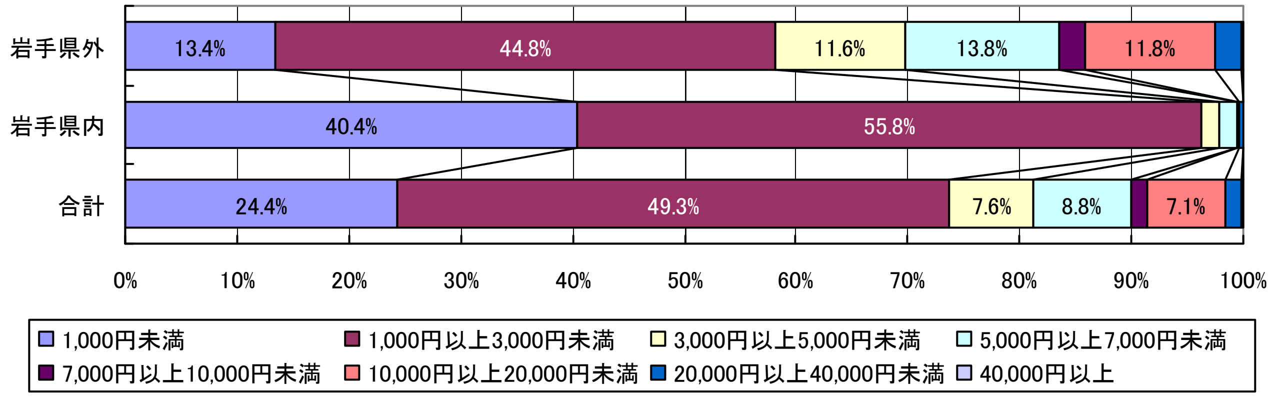
	1,000 円未満	1,000 円以上 3,000 円未満	3,000 円以上 5,000 円未満	5,000 円以上 7,000 円未満	7,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円以上 40,000 円未満	40,000 円以上
合計	29.4%	38.7%	9.7%	12.7%	1.2%	6.5%	1.4%	0.2%
岩手県内	49.9%	39.5%	6.8%	2.7%	0.3%	0.9%	0.0%	0.0%
岩手県外	15.4%	38.1%	11.8%	19.7%	1.8%	10.3%	2.4%	0.4%

↑　図33　岩手県内／外旅行費用の比較（土産代・比率）

本設問より、１人当たりの飲食費をグラフ化したものが図34、35である。
この図より１人当たりの飲食費は、合計では｢1,000円以上　3,000円未満｣が49.3%と最も多い。県内・県外の来訪者別で見ると、県内からの来訪者では「5,000円以上　7,000円未満」がほぼ支出の上限であり、7,000円以上の価格帯では、県外からの来訪者の支出が大半であった（県内来訪者：2件、県外来訪者：81件）。



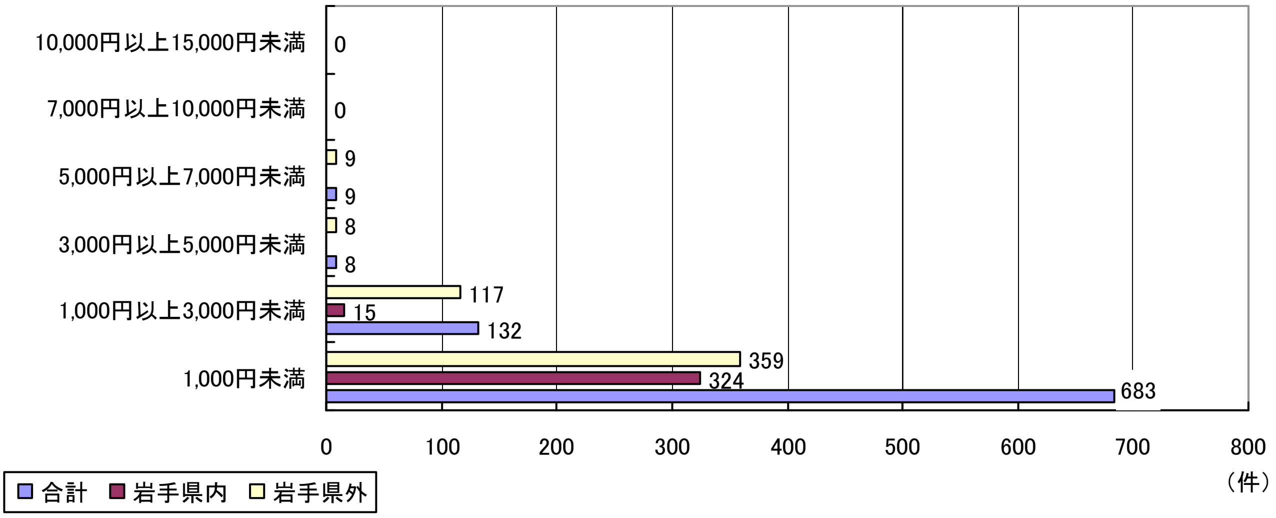
↑　図34　岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・件数）



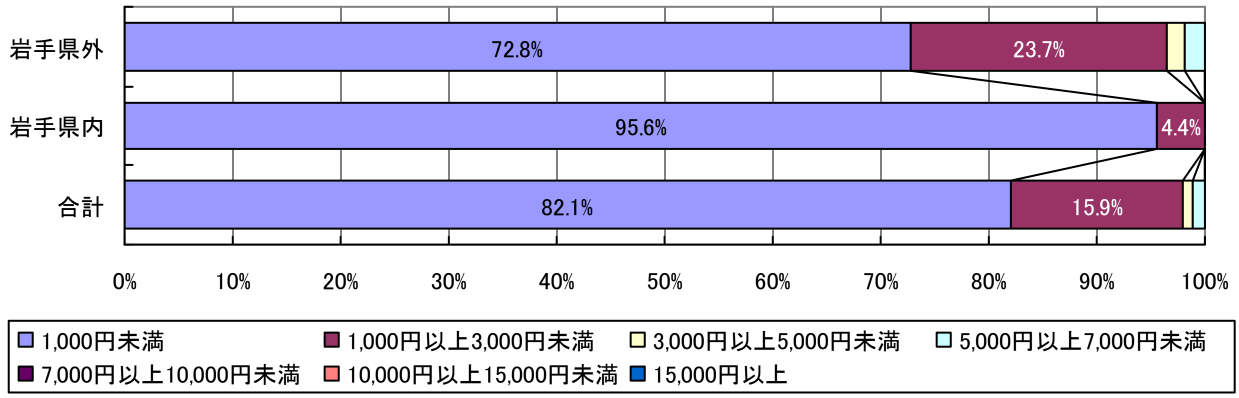
	1,000 円未満	1,000 円以上 3,000 円未満	3,000 円以上 5,000 円未満	5,000 円以上 7,000 円未満	7,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円以上 40,000 円未満	40,000 円以上
合計	24.4%	49.3%	7.6%	8.8%	1.3%	7.1%	1.4%	0.1%
岩手県内	40.4%	55.8%	1.8%	1.5%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%
岩手県外	13.4%	44.8%	11.6%	13.8%	2.2%	11.8%	2.2%	0.2%

↑　図35　岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・比率）

本設問の結果、１人当たりの入場料を集計しグラフ化したのが図36、37である。
この図より、１人当たりの入場料は、県内・県外とも「1,000円未満」が最も多く、県内・県外の来訪者ともに、3,000円未満の価格帯までで9割以上を占めている（県内来訪者：100.0%、県外来訪者：96.5%）。



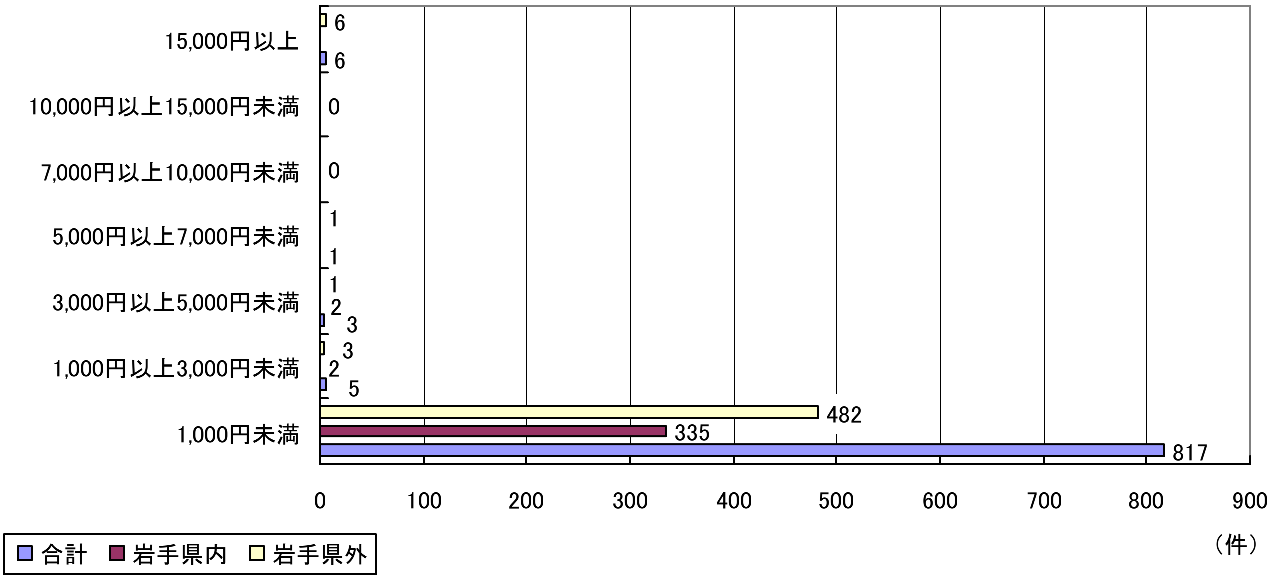
↑　図36　岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・件数）



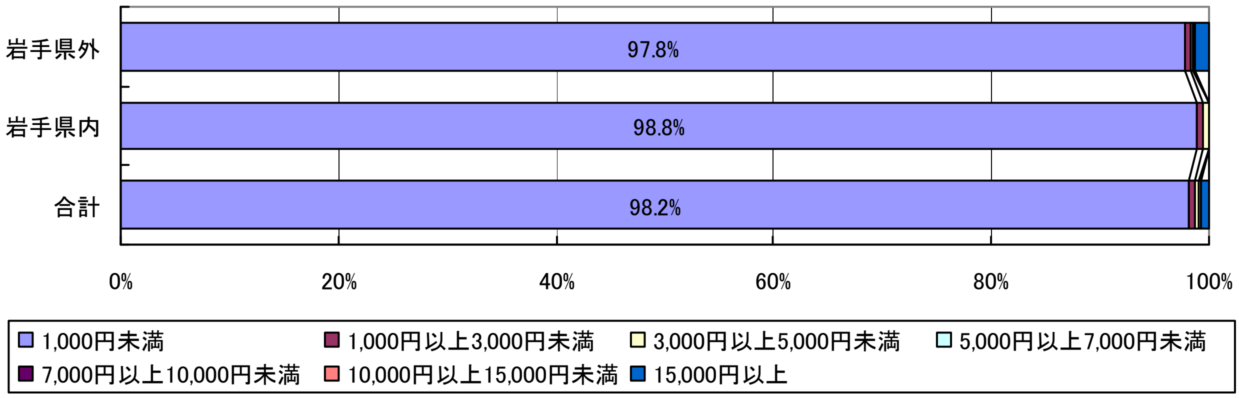
	1,000 円未満	1,000 円以上 3,000 円未満	3,000 円以上 5,000 円未満	5,000 円以上 7,000 円未満	7,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 15,000 円未満	15,000 円以上
合計	82.1%	15.9%	1.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県内	95.6%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	72.8%	23.7%	1.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%

↑　図37　岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・比率）

本設問の結果、１人当たりのその他費用を集計しグラフ化したのが図38、39である。
この図より、１人当たりその他費用は、合計では「1,000円未満」が98.2%と、9割以上を占めている。



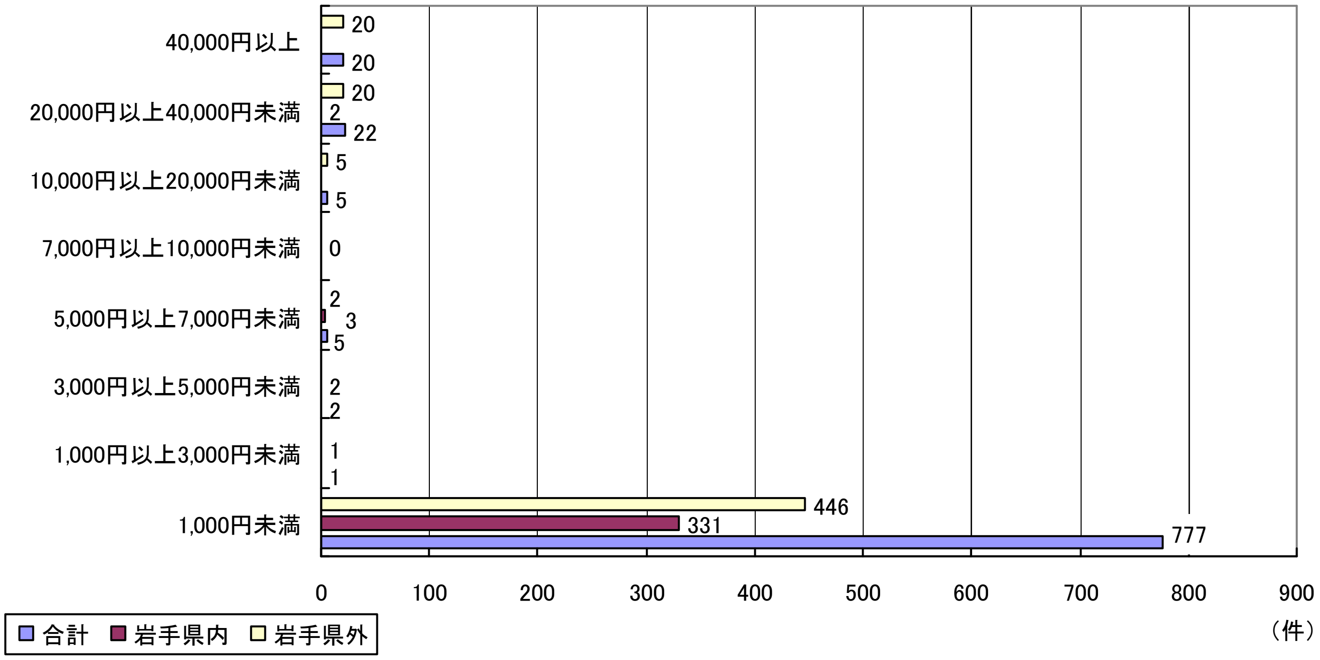
↑　図38　岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・件数）



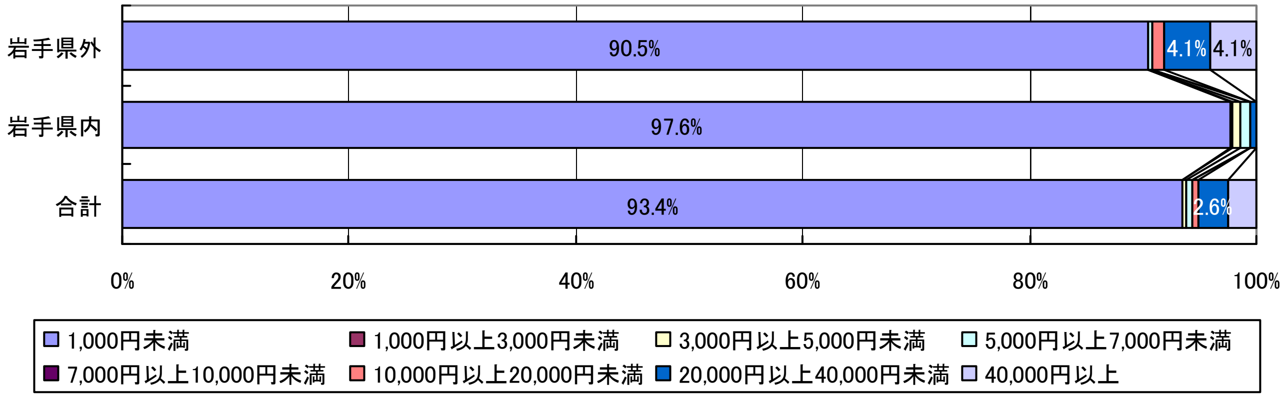
	1,000 円未満	1,000 円以上 3,000 円未満	3,000 円以上 5,000 円未満	5,000 円以上 7,000 円未満	7,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 15,000 円未満	15,000 円以上
合計	98.2%	0.6%	0.4%	0.1%	0.0%	0.0%	0.7%
岩手県内	98.8%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	97.8%	0.6%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	1.2%

↑　図39　岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・比率）

本設問の結果、１人当たりのパック料金を集計しグラフ化したのが図40、41である。
この図より、１人当たりのパック料金は、県内・県外の来訪者とも「1,000円未満」が9割以上（93.4%）であるが、これはパックツアーを利用しなかった来訪者が多いことに所以する。



↑　図40　岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・件数）

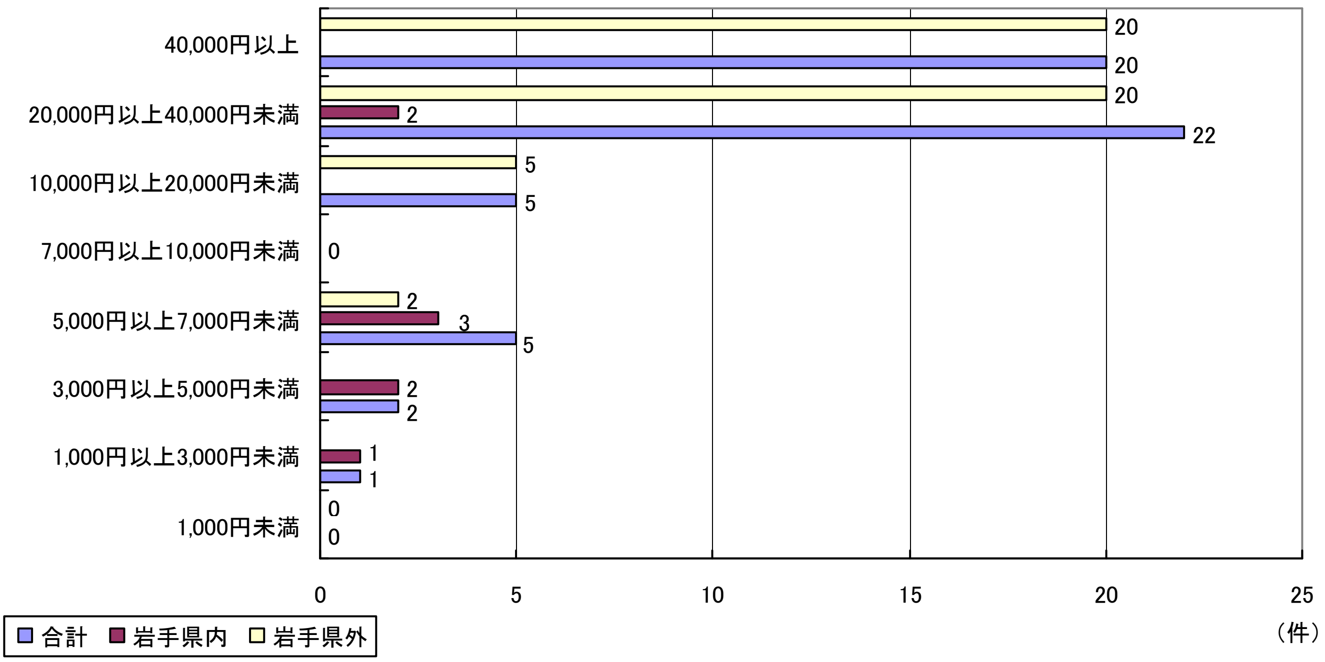


	1,000 円未満	1,000 円以上 3,000 円未満	3,000 円以上 5,000 円未満	5,000 円以上 7,000 円未満	7,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円以上 40,000 円未満	40,000 円以上
合計	93.4%	0.1%	0.2%	0.6%	0.0%	0.6%	2.6%	2.4%
岩手県内	97.6%	0.3%	0.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
岩手県外	90.5%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	1.0%	4.1%	4.1%

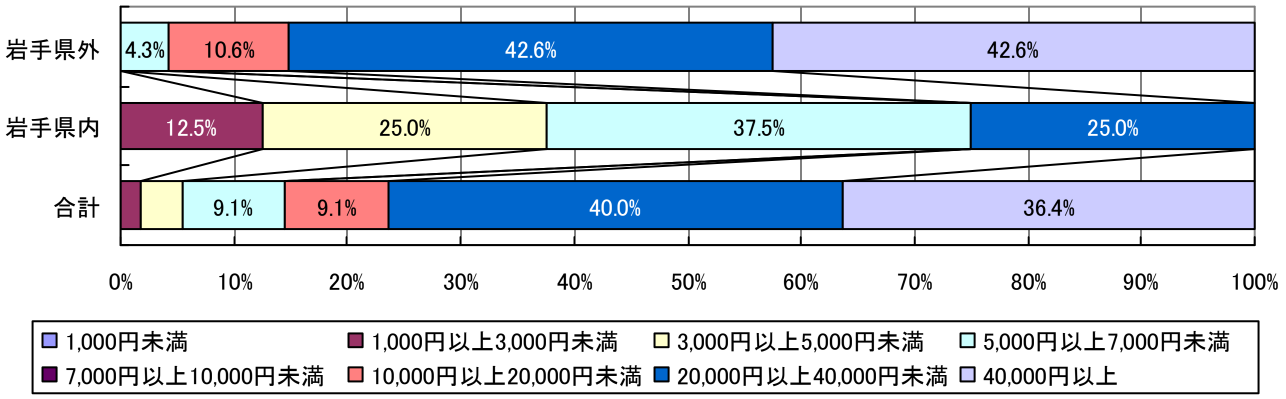
↑　図41　岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・比率）

図40、図41で用いたデータより、パックツアーを利用した来訪者のみに対して再集計しグラフ化したものが、図40-1、図41-1である。

比率を見ると、県内からの来訪者では 7,000円未満が7割以上（75.0%）であるが、県外からの来訪者では10,000円以上が9割を超えている（95.8%）。また、パックツアー利用者の合計件数においては、県外からの来訪者が県内からの来訪者の5倍以上であった（県内来訪者：8件、県外来訪者：47件）。



↑　図40-1　岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・件数　パックツアー利用者のみ）



	1,000 円未満	1,000 円以上 3,000 円未満	3,000 円以上 5,000 円未満	5,000 円以上 7,000 円未満	7,000 円以上 10,000 円未満	10,000 円以上 20,000 円未満	20,000 円以上 40,000 円未満	40,000 円以上
合計	0.0%	1.8%	3.6%	9.1%	0.0%	9.1%	40.0%	36.4%
岩手県内	0.0%	12.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
岩手県外	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	10.6%	42.6%	42.6%

↑　図41-1　岩手県内／外旅行費用の比較（パック料金・比率　パックツアー利用者のみ）